

災害時火山現象速報

平成26年9月27日の御嶽山噴火

目次

1	地理的要素	1
2	噴火状況	2
3	過去の火山活動	26
4	情報の発表状況	28
5	災害時気象支援資料の提供	36
6	気象官署のとした措置	38
7	被害の状況	60
8	気象状況	61

<この資料は速報として急ぎ取りまとめたもので、後日、修正する可能性があります。取り扱いにご注意下さい>

平成26年12月26日

東京管区气象台

この資料は気象庁のほか、中部地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』『数値地図 25000(行政界・海岸線)』『数値地図 25000(地図画像)』を使用しています(承認番号:平 23 情使 第 467 号)。

図版作成には一部 GMT(Generic Mapping Tool[Wessel,P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, EOS Trans. Amer. Geophys. U., vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用しています。

1 地理的要素

御嶽山は、長野県と岐阜県の県境にあり、長野県木曾郡木曾町、王滝村、岐阜県下呂市、高山市にまたがっている標高 3,067m の複合成層火山である。古くから信仰の対象として親しまれ、多くの登山者や観光客が訪れている。

御嶽火山は、乗鞍火山列の南端に位置する成層火山で、古期・新期の火山体が侵食期をはさんで重なり、新期御嶽の初期にはカルデラが生じたが、引き続く活動によってカルデラや放射谷が埋積されて、ほぼ円錐状の現在の地形がつくられた。最新期の活動では、山頂部に南北方向に並ぶ数個の安山岩の小成層火山を生じた。火口のいくつかは現在火口湖となっている。1979 年の噴火以降、蒸気の噴煙が続き、2007 年 3 月には小規模な水蒸気噴火があった。また、王滝山頂の西側及び地獄谷内に噴気地域がある。

新期御嶽火山は継母岳(ままははだけ)火山群と摩利支天(まりしてん)火山群からなる。約 9~11 万年前、広域テフラとして有効な Pm-I 降下軽石層で始まった大量の流紋岩質の軽石噴火とそれに伴うカルデラ形成によって活動を開始した。約 8~9 万年前には流紋岩 - デイサイト質の継母岳火山群の活動があり、カルデラを埋めて溶岩ドームや火砕流が山体を構成した。引き続いて約 8 万年前からは安山岩質の摩利支天火山群が活動した。8 つの火山からなり、カルデラ内で火口を移動しながら活動し、カルデラはほぼ埋め立てられて現在の御嶽火山の南北に並ぶ山頂群が形成された。木曾川泥流堆積物はこの火山群の活動中の約 5 万年前に発生した大規模な岩屑なだれ - 土石流堆積物であり、その流下距離は木曾川沿いに約 150km に達している。最近 2 万年間は、水蒸気爆発を中心にした活動期である。

南東山麓では 1978 年からしばしば地震の多発が見られ、1984 年 9 月 14 日にはマグニチュード 6.8 の地震(昭和 59 年(1984 年)長野県西部地震)により、御嶽山とその周辺の 4 個所で大きな地すべり・斜面崩壊が発生し、合わせて 29 名の人命が失われた。特に大きな土砂災害は伝上川上流で発生した斜面崩壊で、土量は 3400 万 m^3 に達した。崩壊した土砂は伝上川・濁川・王滝川を 12km 渡って流下し、数十 m の厚さに堆積した。崩れた土砂はほとんど全て直下の伝上川に流れ込んだ。構成岩石の SiO₂ 量は 50.3~72.6 wt.% である。別名、木曾御嶽山、以前は「御岳山」とも書かれた。

2 噴火状況 (第2-1図～第2-15図)

2014年(平成26年)9月27日11時52分頃に噴火が発生した。噴火発生時は視界不良のため山頂付近の状況は不明だったが、中部地方整備局が王滝村滝越(剣ヶ峰の南南西約6km)に設置している滝越カメラによると、火砕流が南西方向に3kmを超えて流下した。気象レーダーの観測によると、噴煙は東に流れ、その高度は火口縁上約7,000mと推定されている。御嶽山で噴火が発生したのは2007年以来である。その後の調査により、火砕流は火口列から南西方向に約2.5km、北西方向に約1.5km流下したことがわかった。

この噴火の直前の11時41分頃から連続した火山性微動が発生し、噴火発生以降、振幅の大きい状態が約30分間継続した。田の原観測点(剣ヶ峰の南東約3km)の傾斜計¹⁾では、微動の発生直後の11時45分頃から山側上がりの変化を、11時52分頃から山側下がりの変化を観測した。山側上がりから山側下がりの変化に変わった頃に噴火が始まったものとみられる。

9月28日に中部地方整備局並びに陸上自衛隊の協力で実施した上空からの観測では、剣ヶ峰山頂の南西側で北西から南東に伸びる火口列から活発な噴煙が上がっていることを確認し、赤外熱映像装置²⁾による観測によりそれらの火口付近の高温域を確認した。噴火はこの火口列から発生したとみられ、大きな噴石が火口列から約1kmの範囲に飛散していることを確認した。火砕流は発生したが、地獄谷付近で樹木等が焦げたような痕跡は認められなかった。

降灰の有無について自治体等に聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県笛吹市石和町にかけての範囲で降灰が確認された。

2-1 噴火に至るまでの活動経過 (第2-16図～第2-20図、第2-28図～第2-32図)

御嶽山では、2007年3月後半にごく小規模な噴火が発生したが、その後静穏な状態が継続していた。9月10日から11日にかけて、剣ヶ峰山頂付近でA型地震(高周波の地震)が増加したが、その後次第に減少していた。また、9月14日から24日にかけてB L型地震(低周波の地震)が5回発生した。

三岳黒沢(剣ヶ峰の南東約14km)に設置している遠望カメラによる観測では、山頂付近に噴気は認められなかった。中部地方整備局の滝越カメラによる観測では、地獄谷の噴気孔からの噴気の高さは100m以下で経過していた。

なお、2007年の噴火前には、火山性地震の発生に加えて、低周波地震、火山性微動や山体の膨張を示す地殻変動が認められた。

2-2 噴火後の状況 (第2-17図、第2-20図～第2-32図)

噴煙の高さは、遠望カメラによると、9月27日は視界不良で観測できなかったが、9月28日に800mを観測し、その後、9月29日から10月13日までは300mから500mで推移した。また、10月11日以降噴煙に火山灰を含むことを示す有色の噴煙は観測していない。

10月7日に航空自衛隊の協力により実施した上空からの観測によると、剣ヶ峰山頂の南西側の火口列からは白色の噴煙が勢いよく火口縁上約400mまで上がり、時折火山灰混じりの灰白色の噴煙が認められた。10月16日に航空自衛隊の協力により実施した上空からの観測によると、白色の噴煙が火口縁上約100mまで上がっていた。噴煙中に火山灰は認められなかった。いずれの観測においても、噴煙の風下側では、硫化水素臭が認められた。なお、9月28日以降の上空からの観測で、火山灰を広範囲に噴出、または大きな噴石を飛散させるような噴火が発生した痕跡は認められていない。

現地調査を行っている気象庁機動調査班(JMA-MOT)によると、10月2日や5日に山麓でわずかな降灰を確認した。また、10月14日には車体に火山灰とみられる微量な付着物を確認した。

噴火発生11分前の9月27日11時41分頃から火山性微動が連続して発生した。火山性微動は振幅の増減を繰り返し、10月1日19時頃からは検知できない程度の大きさとなったが、10月2日19時30分頃から再び観測され始めた。その後振幅は小さいながらも継続していたが、10月7日以降は、検知できない程度の大きさになった。

9月28日以降、上空及び山麓で実施した火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は噴火直後は1日あたりおよそ500トンから1500トンで推移していたが、10月に入ってから1日あたりおよそ100トンから500トンとやや少ない状態となっている（観測値はいずれも速報値）。

火山性地震は噴火が発生した9月27日は483回と増加したが、その後次第に減少している。

御嶽山の南東約3kmに設置している傾斜計では、10月4日13時頃からわずかな山側上がりの変化がみられたが、10月5日08時頃から横ばいの状態となり、その後10月4日13時以前の状態に戻ったものとみられる。この期間にみられた変動の大きさは、噴火直前の数分前に観測された変動の大きさと比較すると約50分の1程度であった。このほかにも時々降水によるとみられる変動を観測している。なお、GNSS³⁾連続観測において、10月中旬までのデータの解析により、御嶽山を挟む一部の基線において9月上旬頃以降ごくわずかな変化があることがわかった。このような基線変化は地殻変動の他、気象擾乱等でも生じることがある。

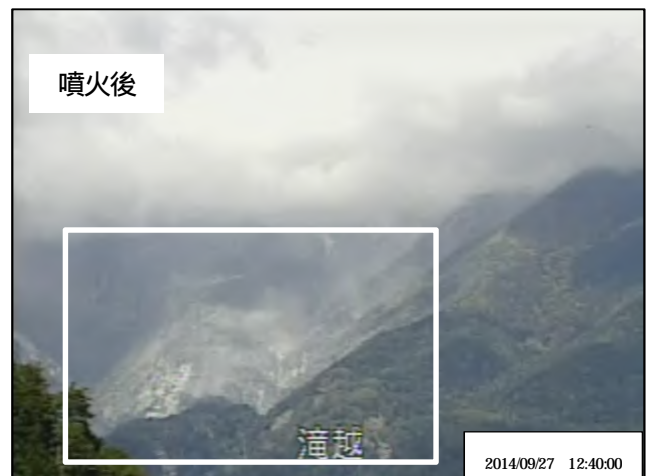
- 1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。1マイクロラジアン(μradian)は1km先が1mm変化する量。
- 2) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の温度よりも低く測定される場合がある。
- 3) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称。



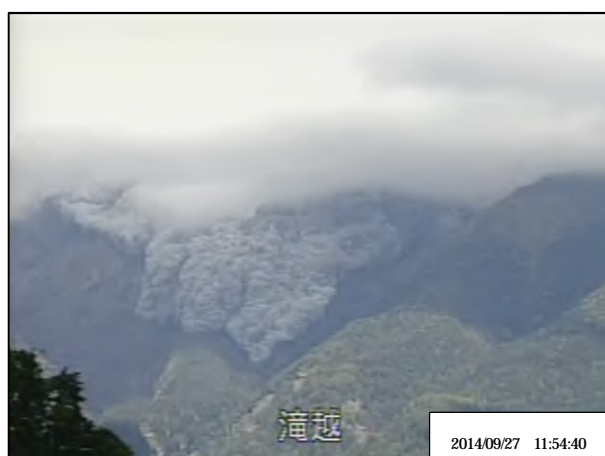
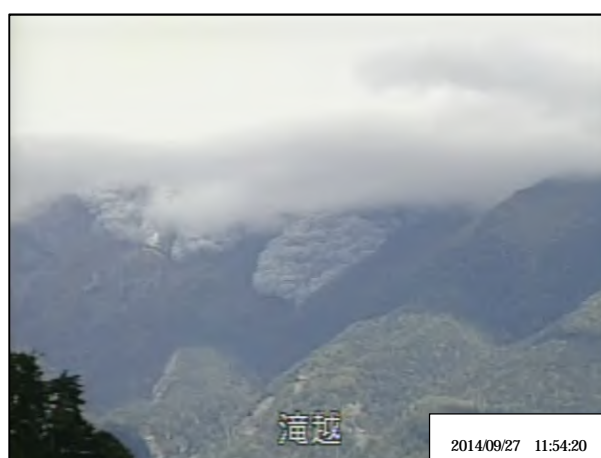
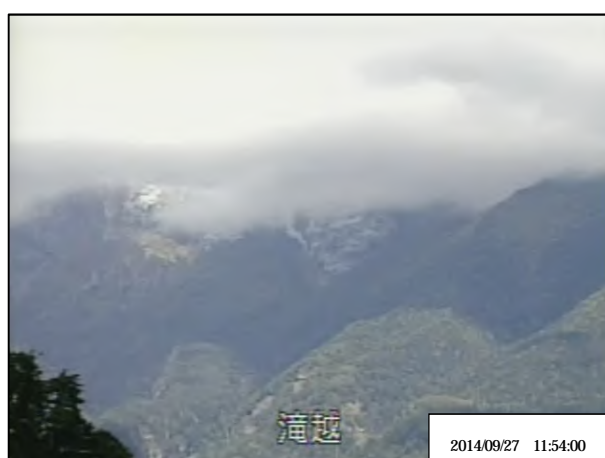
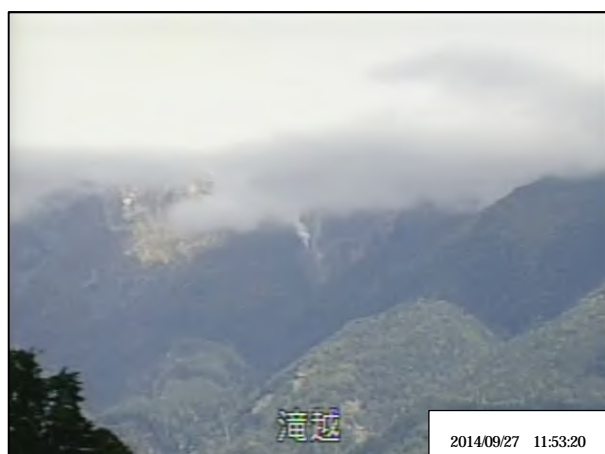
第2-1 図 御嶽山 規制範囲図
 ・赤線が山頂火口から4kmの範囲



第2-2図 御嶽山 噴煙の状況
 (中部地方整備局の滝越カメラによる。2014年9月27日11時56分)
 ・山の南西方向に火砕流が2.5km程度流下した。



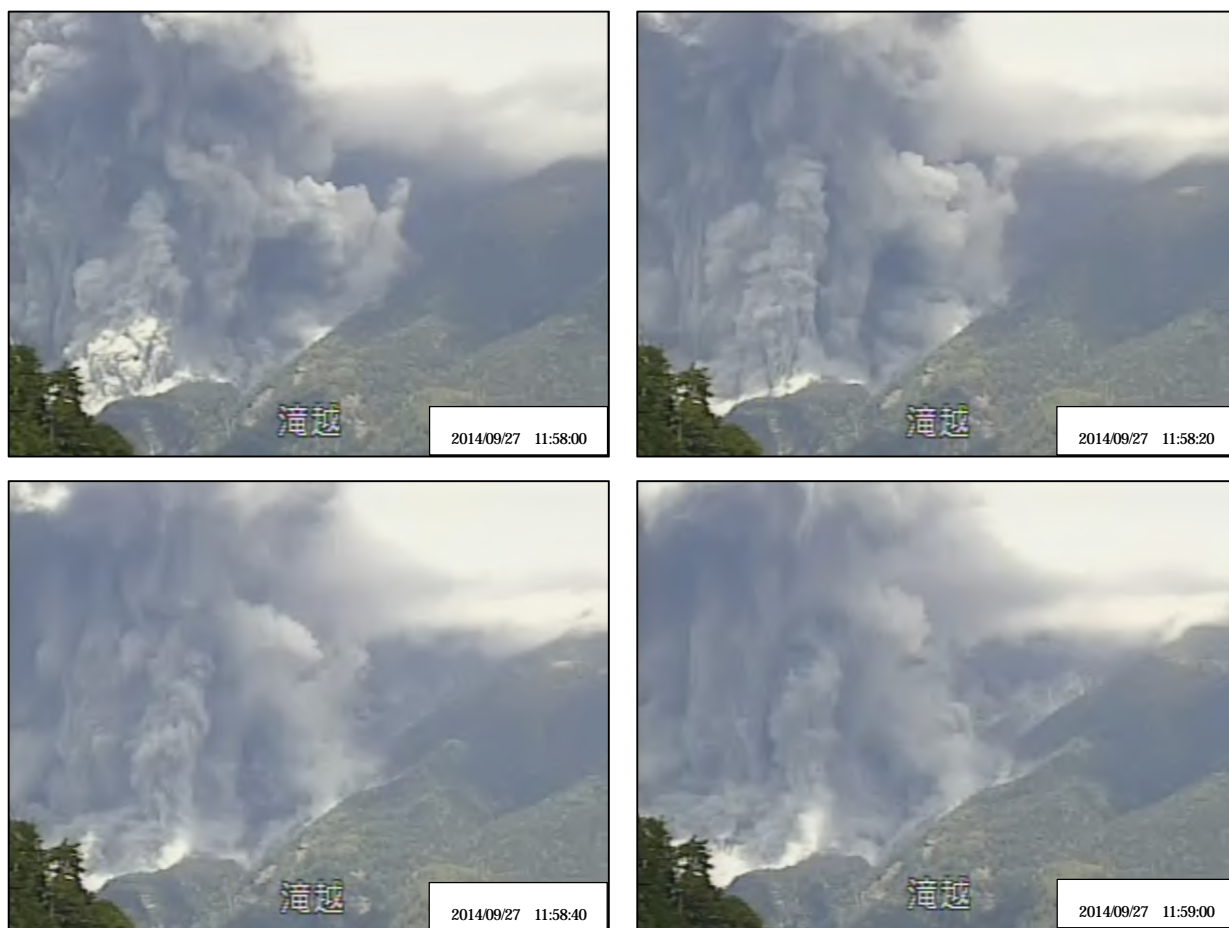
第2-3図 御嶽山 火砕流の流下状況(2014年9月27日11時50分と12時40分の比較)
 中部地方整備局設置の滝越カメラによる
 ・山の南西側斜面を火砕流が2.5kmを超えて流下した。右図四角枠内に火砕流が堆積している。



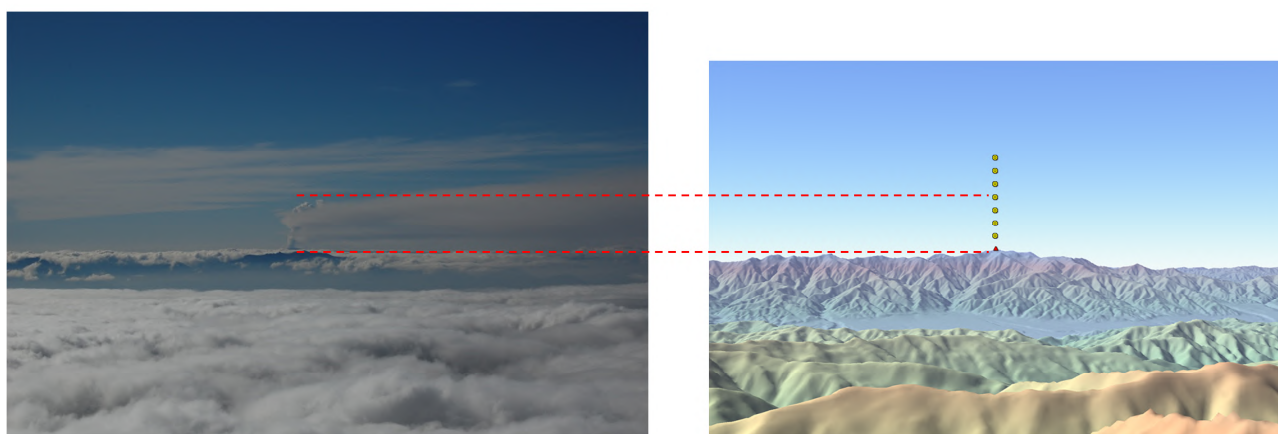
第 2-4-1 図 御嶽山 火砕流の流下状況 (2014 年 9 月 27 日 11 時 52 分 40 秒 ~ 11 時 55 分 00 秒)
中部地方整備局設置の滝越カメラによる



第2-4-2 図 御嶽山 火砕流の流下状況 (2014年9月27日11時55分20秒~11時57分40秒)
中部地方整備局設置の滝越カメラによる

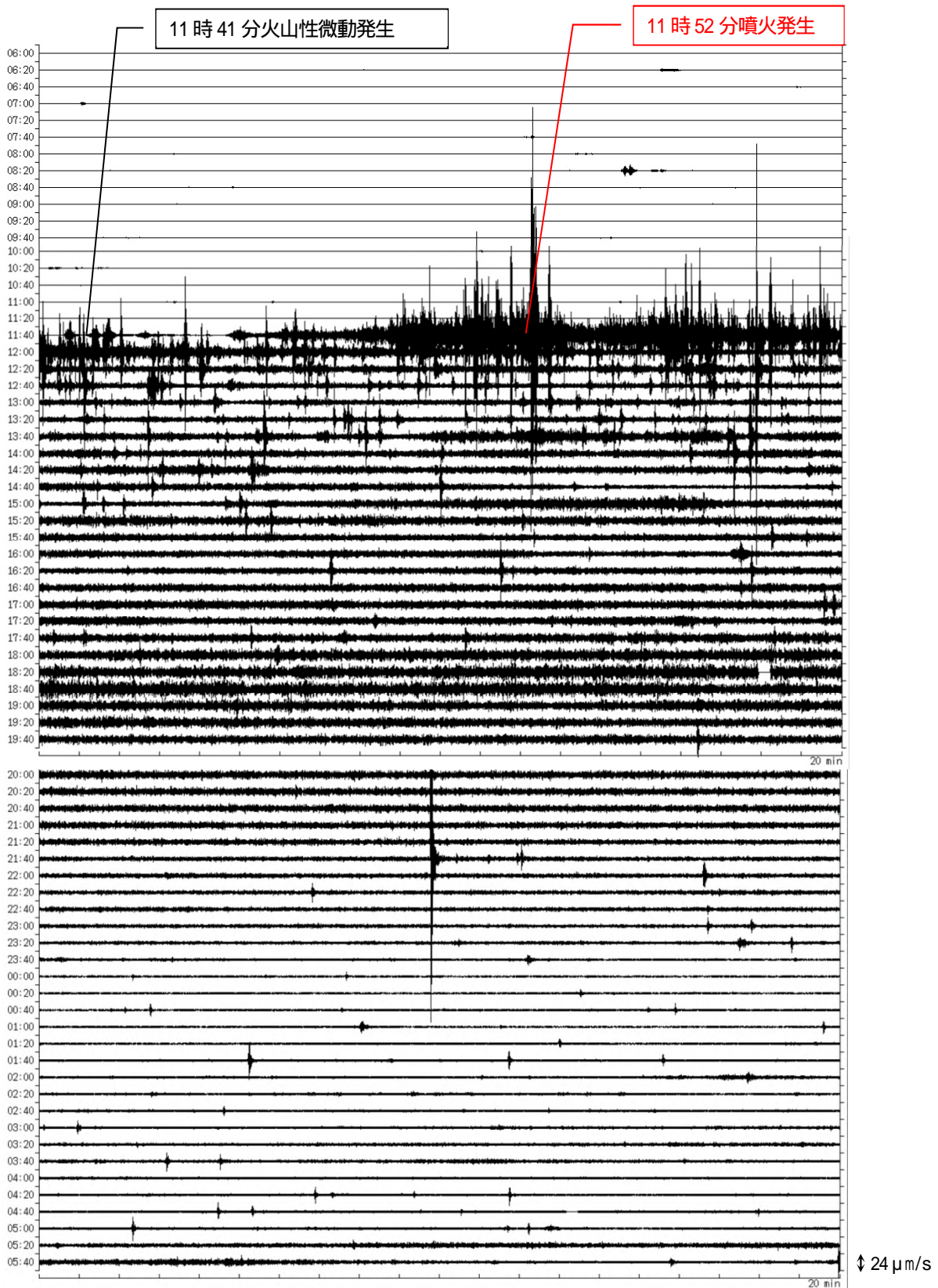


第 2-4-3 図 御嶽山 火砕流の流下状況（2014 年 9 月 27 日 11 時 58 分 00 秒～11 時 59 分 00 秒）
中部地方整備局設置の滝越カメラによる

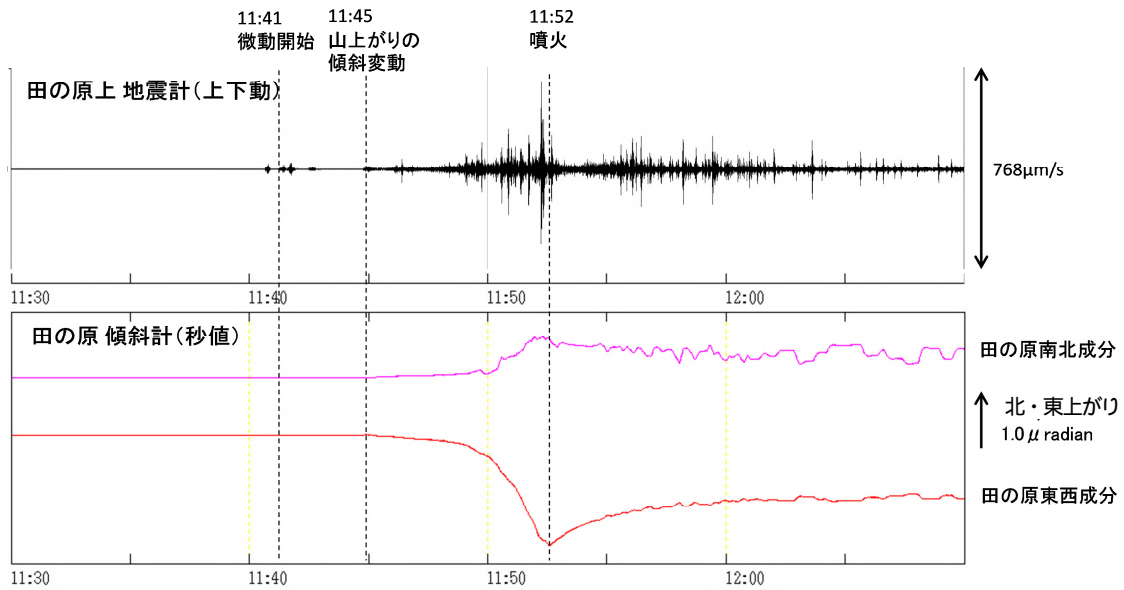


第 2-5 図 御嶽山 噴火発生後の噴煙の状況（2014 年 9 月 27 日 15 時 30 分頃）
左図：御嶽山の南東約 70km の間ノ岳（あいのだけ）から気象庁職員撮影
右図：カシミール 3 D^注を使用し、稜線にあわせて高度を計測。1000m 毎に黄色二重丸印を表示
・この時点での噴煙の高さは火口縁上 3000～4000m であった。

注) 図をカシミール 3 Dソフトウェア (<http://www.kashmir3d.com/>) を使用して作成

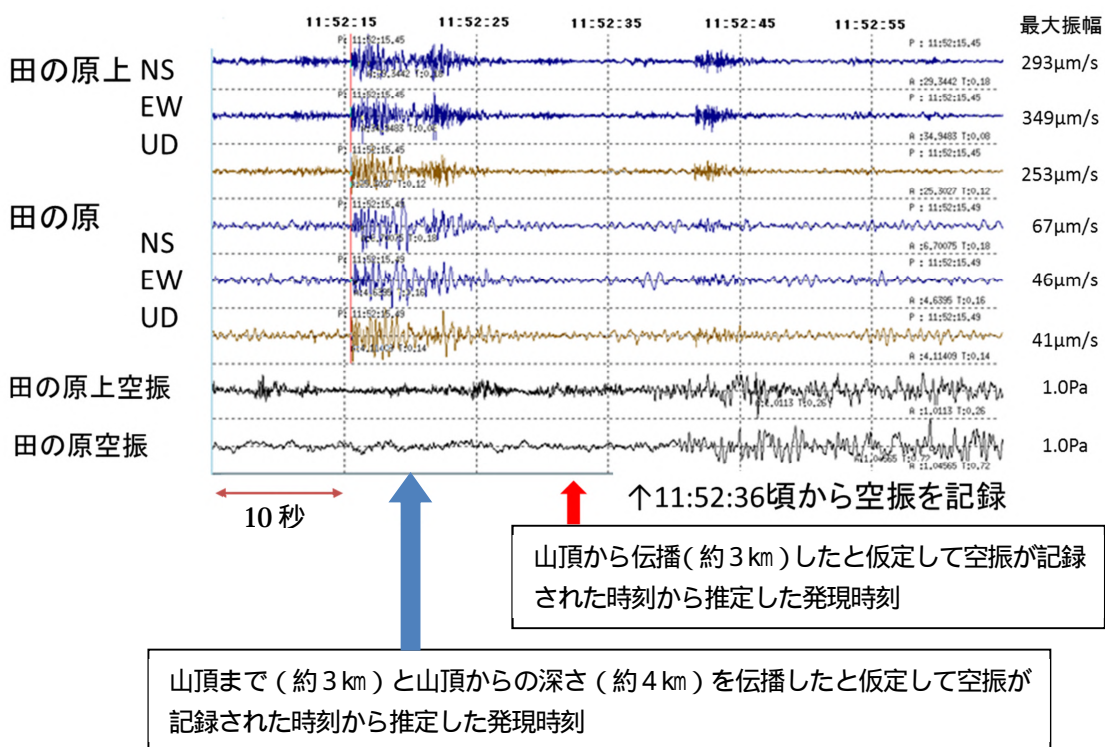


第2-6図 御嶽山 地震及び微動の発生状況(剣ヶ峰の南東約2kmの田の原上観測点の上下動地震波形)
 (2014年9月27日06時00分~9月28日06時00分)
 ・火山性微動が11時41分に発生し、振幅が徐々に小さくなりながら続いた。



第 2-7 図 御嶽山 噴火発生時の震動データ及び傾斜データの状況

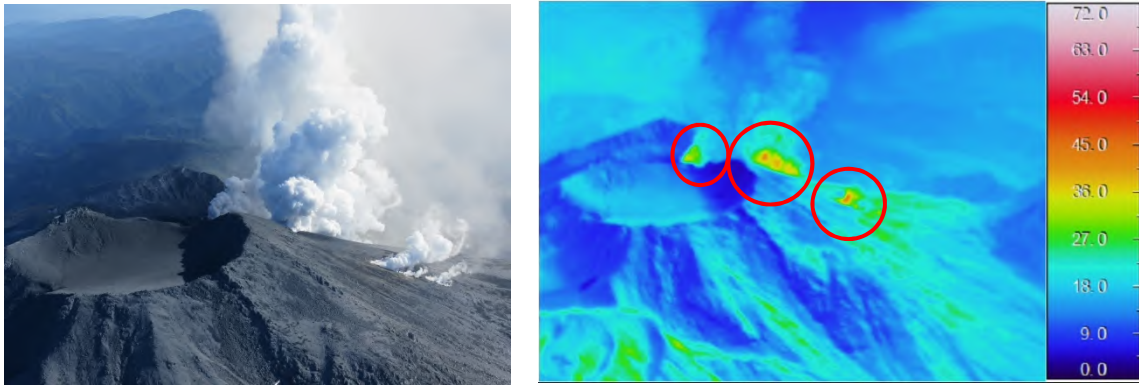
- 火山性微動の発生に伴い、11 時 45 分頃に剣ヶ峰山頂の南東 3km の田の原観測点で北西上がり（山側上がり）の変化を、その約 7 分後の 11 時 52 分頃に南東上がり（山側下がり）の変化を観測した。なお、南東上りの変化には火山性微動等による変動も含まれている。



第 2-8 図 噴火発生時の観測点波形（田の原及び田の原上）

NS は北-南、EW は東-西、UD は上-下成分を示す（先に書いた方が上側）

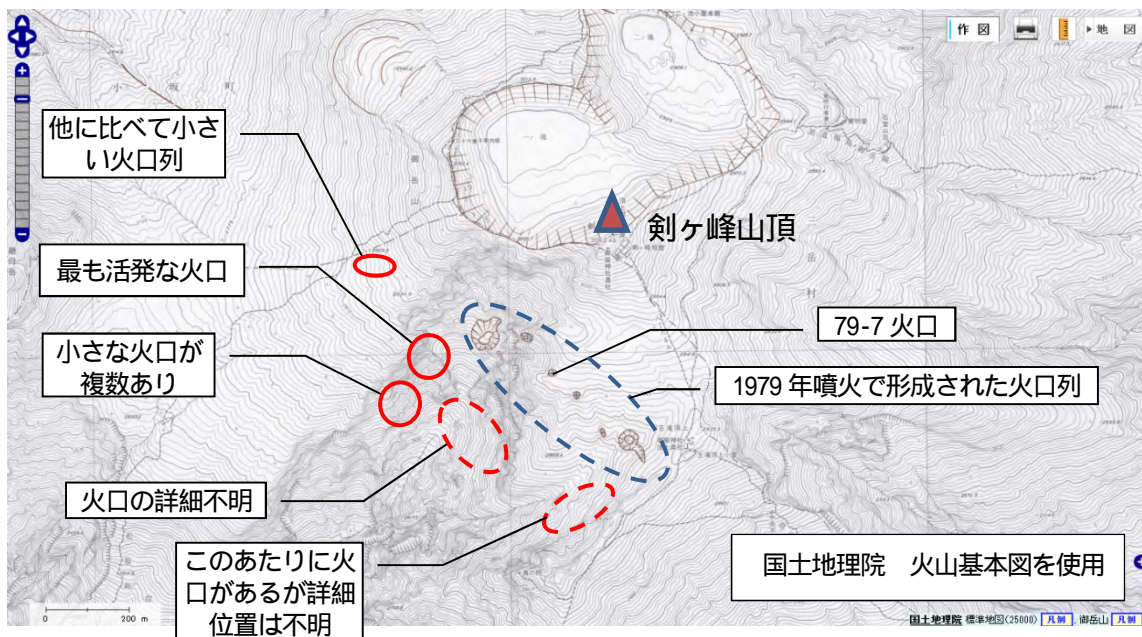
- 11 時 52 分 36 秒頃から先に田の原上で空振の振動が出現し始めている（それ以前はノイズ）
- 発現推定時刻はいずれも地震波 2.5km/s、音速 340m/s で計算。



第2-9図 御嶽山 赤外熱映像装置による山頂付近の観測

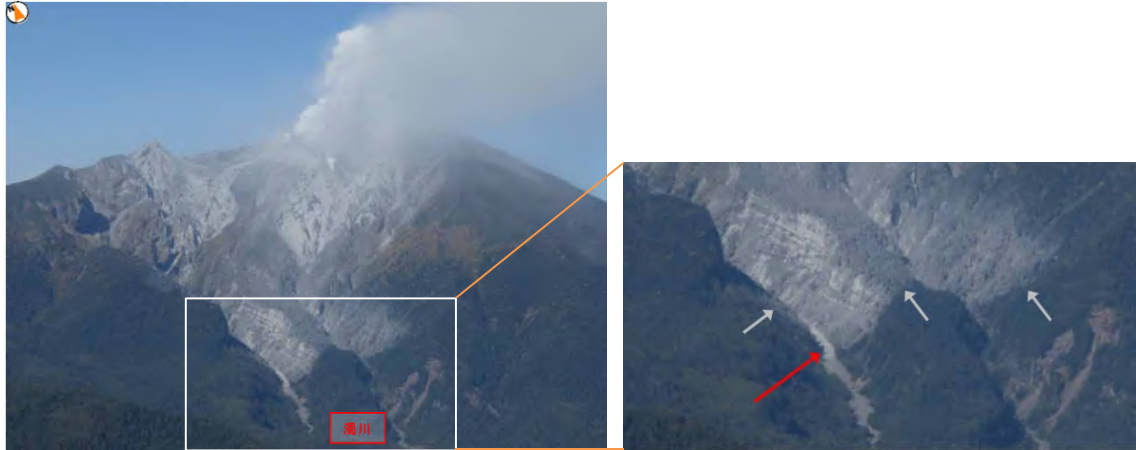
(2014年9月28日15時30分、陸上自衛隊の協力により山頂北側の上空海拔約3,600mから撮影)

- ・ 剣ヶ峰の南西側で、活発な噴煙が上がっている主に3ヶ所(右図円内)の高温域を観測した。
- ・ 噴火口周辺を除いては、日射の影響があるものの地熱域は特に認められなかった。



第2-10図 御嶽山 火口位置

- ・ 剣ヶ峰山頂の南西側に北西から南東に伸びる火口列が形成されていた。



第2-11図 御嶽山 噴火発生後の状況

(9月28日14時37分 南南西上空から撮影。陸上自衛隊の協力による)

- ・濁川下流部の河床に火砕流堆積物とみられる灰色の変色が認められた(右図赤矢印)。
- ・谷の両側の斜面では火砕流による樹木の変色が認められた(右図白矢印)。



第2-12図 御嶽山 噴火発生後の状況
西南西上空から9月28日15時14分



第2-13図 御嶽山 噴火発生後の状況
西上空から9月28日15時14分撮影

(いずれも陸上自衛隊の協力による)

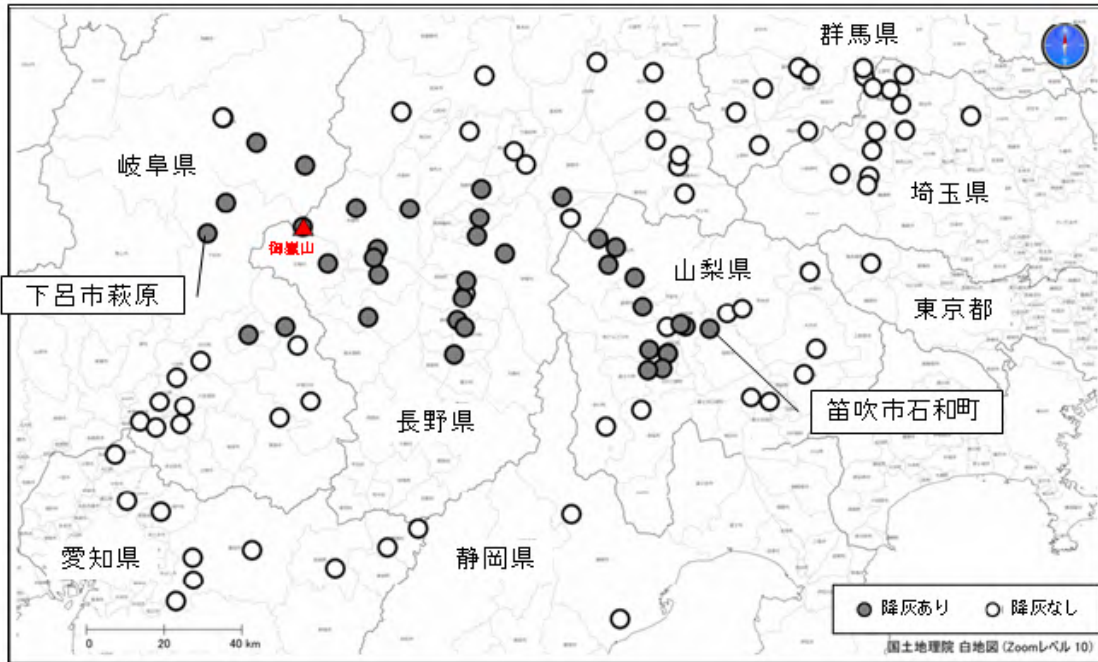
- ・左図の赤矢印は比較的顕著な噴煙を噴出している火口及び火口列。
- ・右図地獄谷から剣ヶ峰方向を中心に黒灰色～灰色をした噴出物が帯状に分布していた。



第2-14図 御嶽山 噴火発生後の状況

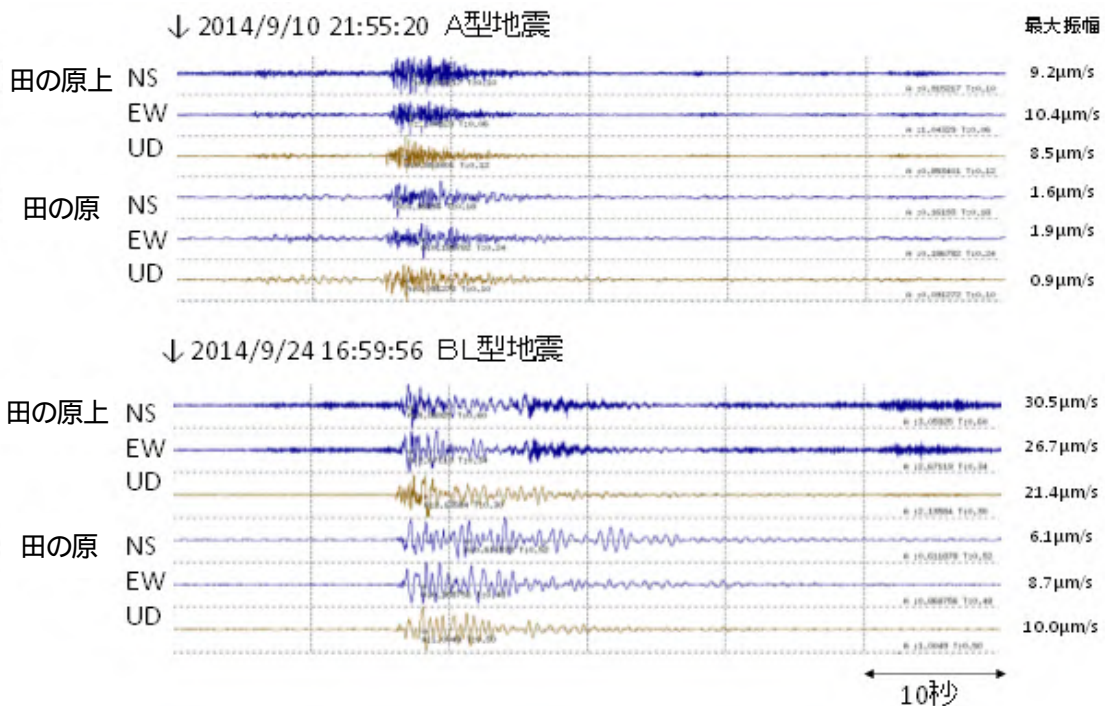
(北西上空から9月28日14時57分撮影。陸上自衛隊の協力による)

- ・濁川方向の樹木に火砕流によると思われる樹木の変色が認められる(右図白矢印)。



第 2-15 図 気象庁の聞き取り調査による降灰の状況 (9 月 28 日 16 時現在)

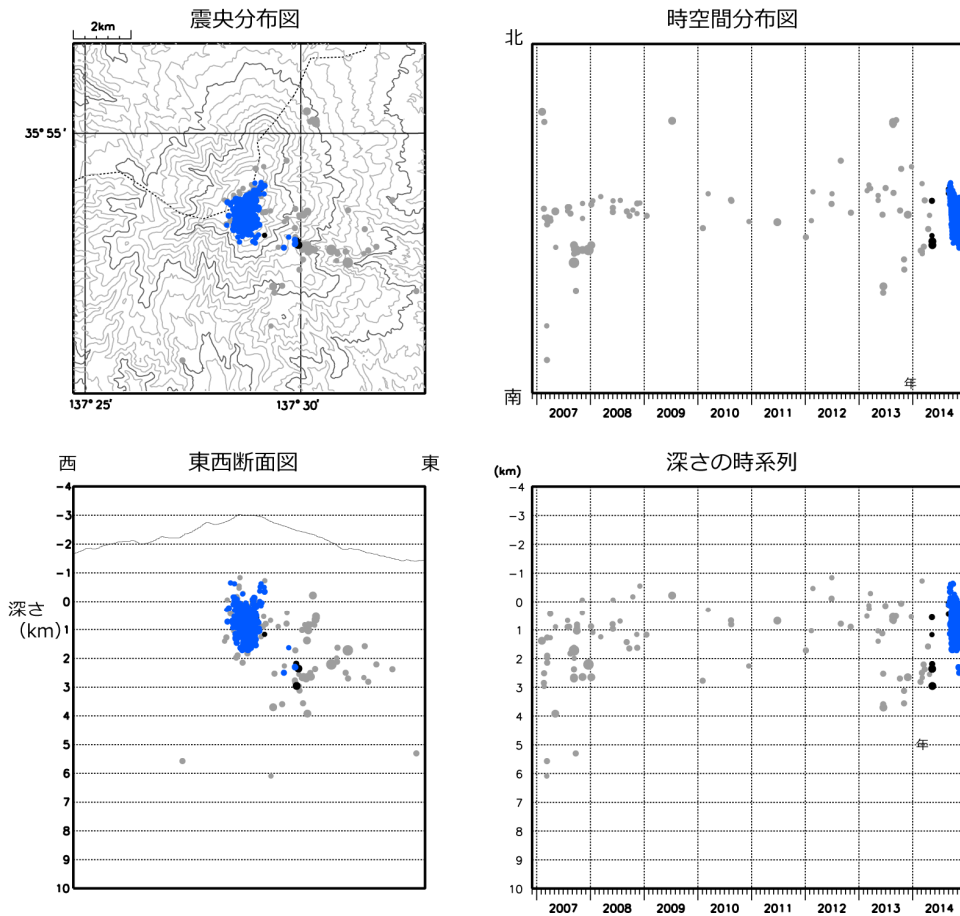
- ・山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県笛吹市石和町 (ふえふきし いさわちょう) (御嶽山の東南東約 110km) にかけての範囲で降灰が確認された。



第 2-16 図 噴火前に発生した地震の波形例

NS は北-南、EW は東-西、UD は上-下成分を示す (先に書いた方が上側)

- ・9 月 10 日から 11 日にかけて A 型地震が増加した。9 月 14 日 ~ 24 日に B L 型地震が 5 回発生した。



第2-17図 御嶽山 震源分布図(2006年12月1日~2014年11月30日)

- : 2006年12月1日~2014年4月30日
- : 2014年5月1日~8月31日
- : 2014年9月1日~11月30日

- ・震源が決まった火山性地震は剣ヶ峰直下に分布した。
- ・これまでの震源は、剣ヶ峰直下(深さ0~2km付近)に集中しているほか、剣ヶ峰から南南東約4km付近の深さ0~4kmにも分布している。

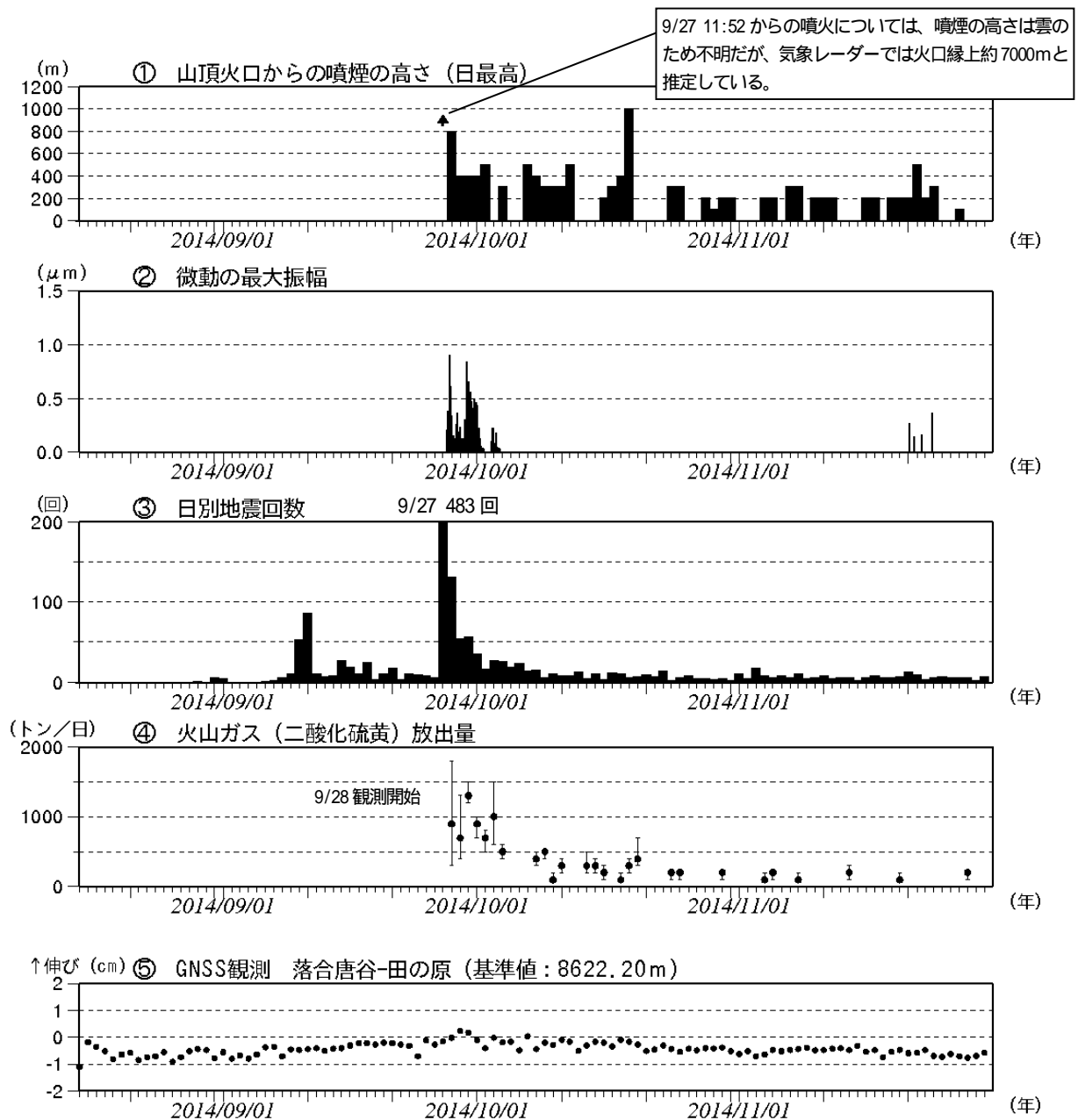


第2-18図 御嶽山 噴火前の山頂部の状況
(9月12日 三岳黒沢遠望カメラによる)



第2-19図 御嶽山 噴火前の噴気孔(地獄谷)の状況
(9月13日 滝越設置のカメラによる)

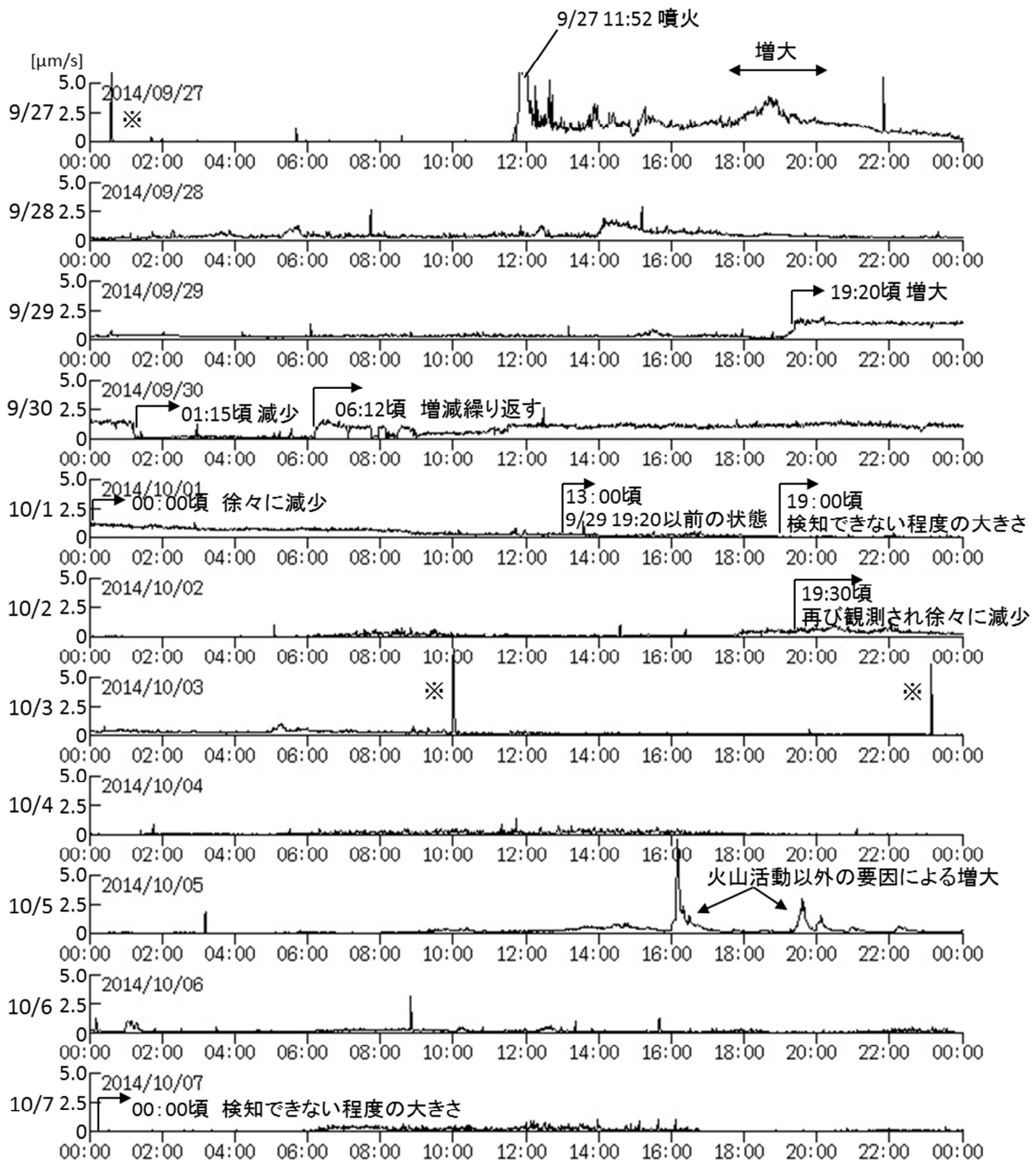
- ・地獄谷下部の噴気孔で弱い噴気が認められる。



第2-20図 御嶽山 火山活動経過図 (2014年8月15日~11月30日)

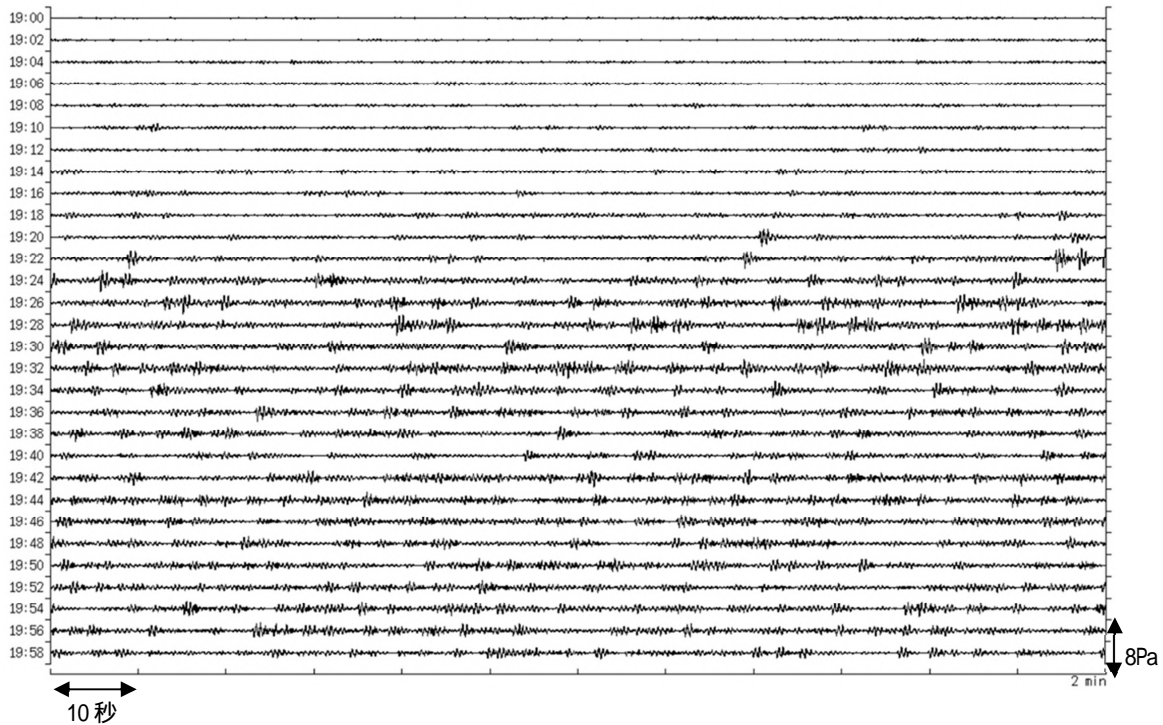
遠望カメラによる噴煙の高さ 噴煙の高さは日最大値(噴火時以外は定時観測(09時・15時)の値)。矢印は噴火発生を示す。また、視界不良時には噴煙の高さが表示されていないが、噴火以降、10月10日にかけては火山灰を含む有色噴煙で、以降は白色の噴煙が連続的に発生しているものと考えられる。図中 は第2-33図のGNSS基線 に対応し、グラフの空白部分は欠測を示す。

- ・火山性地震は10月7日以降、やや少ない状態で経過している。しかし、8月以前の状況には戻っていない。
- ・11月21日03時07分頃及び16時12分頃、22日14時55分頃、23日19時25分頃にいずれも振幅の小さい火山性微動が発生した。火山性微動の継続時間は最も長いもので約2分20秒(21日03時07分)だった。火山性微動の発生は10月6日以来である。遠望カメラ等による噴煙などの状況、傾斜計などのその他の観測データにはこれらの微動の発生に伴う特段の変化はみられていない。
- ・二酸化硫黄の放出量は、1日あたりおよそ100~200トンとやや少ない状態で推移している(観測データはいずれも速報値)。



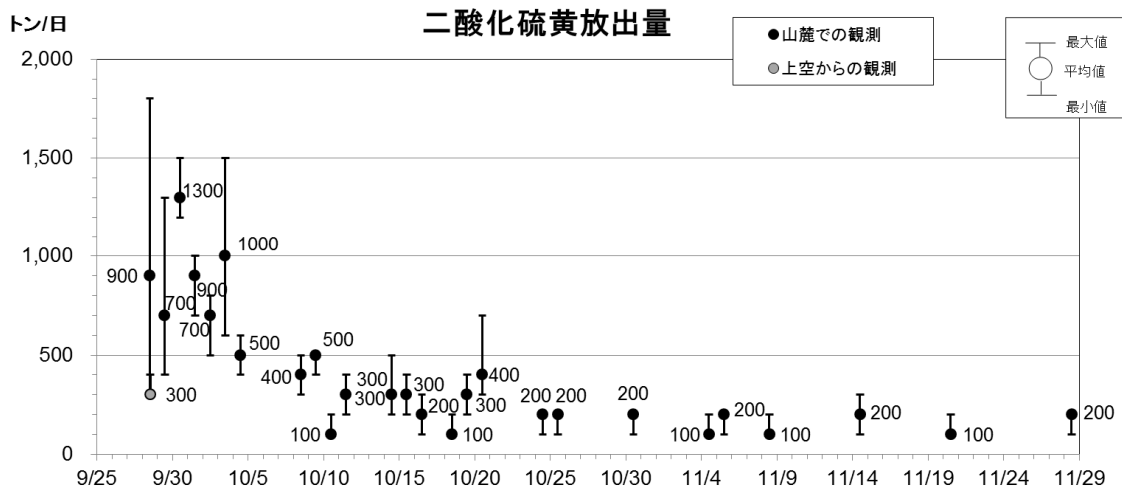
第2-21 図 御嶽山 田の原上観測点(剣ヶ峰の南東約2km)の
上下動地震波形の1分間振幅平均値の推移
(2014年9月27日00時~10月7日24時00分)

- ・噴火発生の11分前の9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し、振幅の増減を繰り返しながら継続した。10月1日19時頃からは検知できない程度の大きさになったが、10月2日19時30分頃から再び観測され始めた。その後振幅は小さいながらも継続していた。
火山活動以外の地震による。



第2-22 図 連続微動中での空振波形 (田の原上 2014年9月29日19時00分~20時00分)

- ・図のような微動に伴う空振が9月29日15時24分頃~15時40分頃、16時54分頃~17時30分頃、19時20分頃~9月30日01時15分頃、06時12分頃~08時50分頃に発生した。



第2-23 図 御嶽山 火山ガス (二酸化硫黄) 観測結果 (9月28日~11月30日)

- ・9月28日以降、上空及び山麓で実施した火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は、噴火直後は1日あたりおよそ500トンから1500トンで推移したが、10月に入ってからからは1日あたりおよそ100トンから500トンでやや減少して推移した (いずれも速報値)。



第2-24図 御嶽山 10月2日現在の噴煙の状況
(三岳黒沢遠望カメラによる)

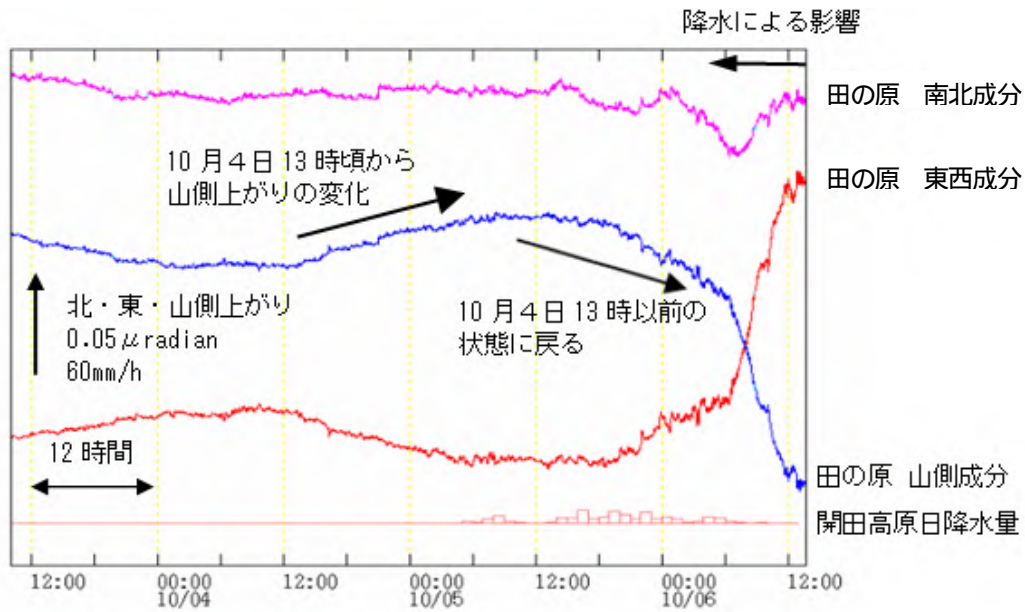


第2-25図 御嶽山 10月7日の噴煙の状況
(中部地方整備局設置の滝越カメラによる)



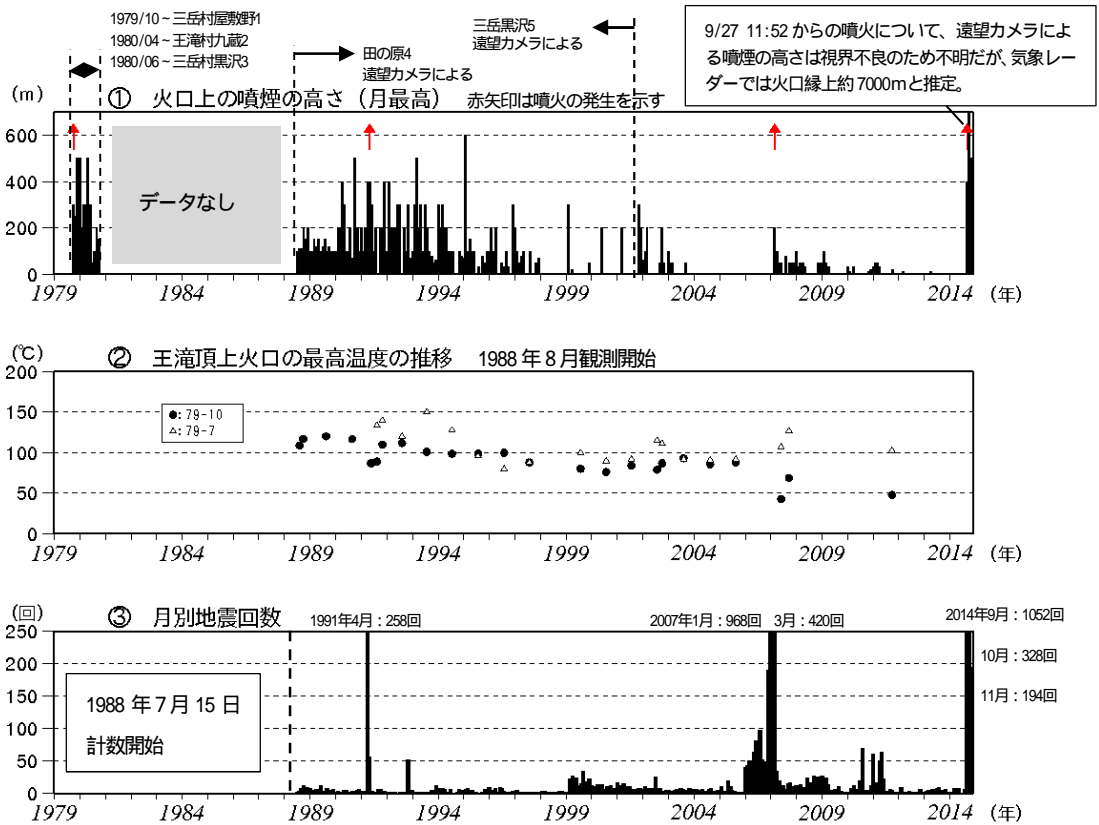
第2-26図 御嶽山 火口付近の状況
(2014年10月7日06時27分、航空自衛隊の協力により山頂南西側の上空から撮影)

- ・ 剣ヶ峰山頂の南西側の火口列からは白色の噴煙が勢いよく火口縁上約400mまで上がり、時折火山灰混じりの灰白色の噴煙が認められた。
- ・ 噴煙の風下側で硫化水素臭が認められた。
- ・ 火山灰を広範囲に噴出、または大きな噴石を飛散させるような噴火が発生した痕跡は認められず、噴煙及び火口の状況に変化はなく、地形の変化は特段認められなかった。



第2-27図 御嶽山 田の原観測点（剣ヶ峰の南東約3km）の傾斜変動
（2014年10月3日10時00分～6日13時30分、分値、潮汐補正済み）

- ・10月4日13時頃から山側上がりのわずかな変化がみられたが、10月5日08時頃から横ばいの状態となり、その後10月4日13時以前の状態に戻ったものとみられる。この期間にみられた変動の大きさは、噴火直前の数分前に観測された変動の大きさと比較すると約50分の1程度であった。
- ・10月6日06時頃からみられている変動は降水によるものとみられる。
- ・「田の原 山側成分」は、東西・南北の各成分の山側方向の成分を合成したものである。

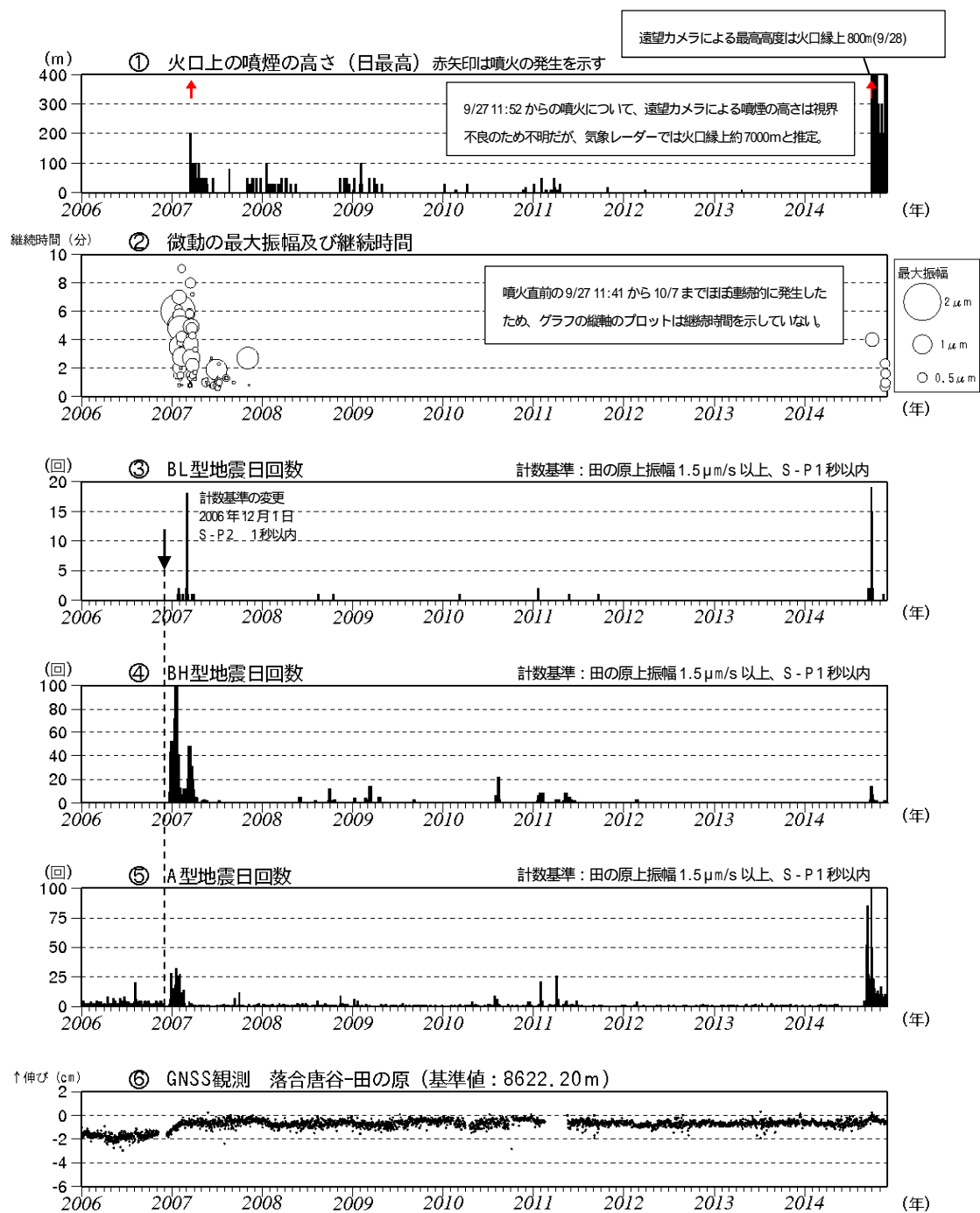


第2-28図 御嶽山 長期の火山活動経過図 (1979年10月～2014年11月30日)

- : 月最大噴煙高度
- : 王滝頂上噴気地帯の温度変化 (サーミスタ温度計による)
- : 月別地震回数グラフ



第2-29図 御嶽山 遠望観測地点の変遷
番号は第2-28図の観測地点番号に対応。

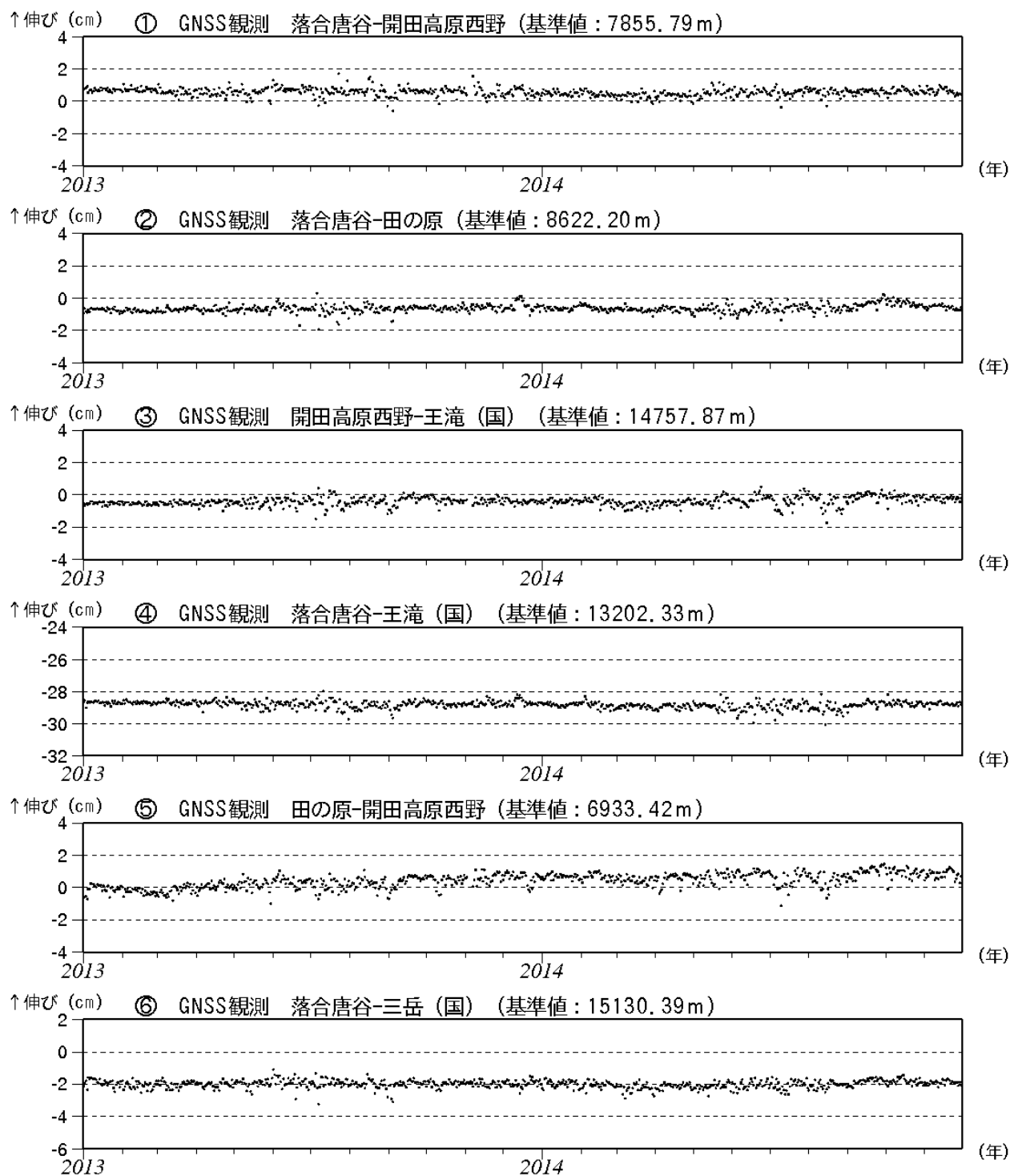


第2-30図 御嶽山 最近の火山活動経過図（2006年1月1日～2014年11月30日）

2010年10月以降のGNSSデータについては解析方法を改良し、対流圏補正と電離層補正を行っている。なお、解析には、IGS（International GNSS Service：国際GNSS事業）から提供される超速報暦を用いている。

図中 は第2-33図のGNSS基線 に対応し、空白期間は欠測を示す。

- 2007年3月後半の噴火前に山体膨張の地殻変動がみられ、火山性地震が増加し、微動が観測された。
- 図中 において、2014年9月上旬頃以降ごくわずかな変化がみられるが、このような基線変化は地殻変動の他、気象擾乱等でも生じることがある。



第2-31 図 御嶽山 GNSS 連続観測による基線長変化 (2013 年 1 月 1 日~2014 年 11 月 30 日)

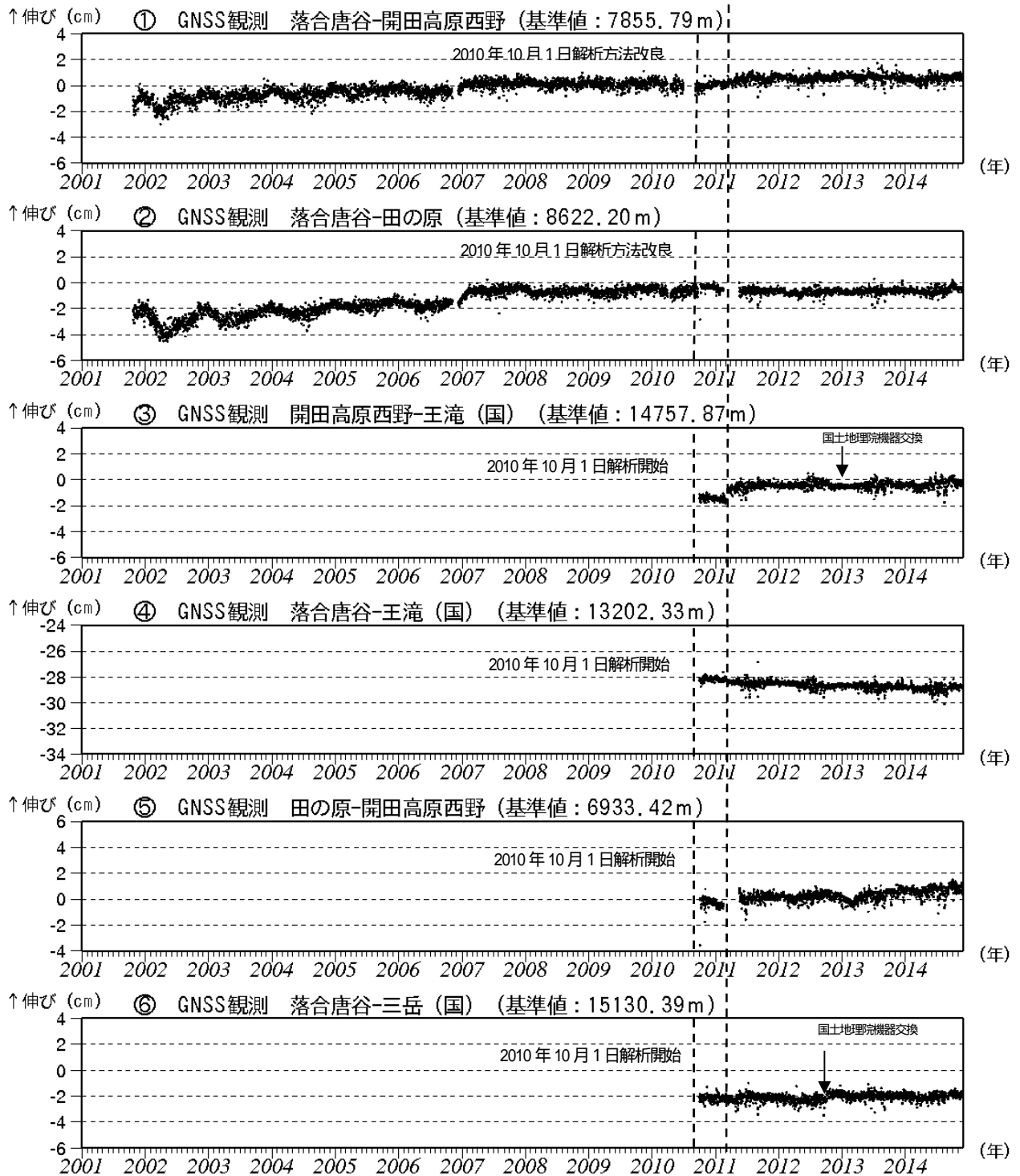
(国): 国土地理院

2010 年 10 月以降のデータについては解析方法を改良し、対流圏補正と電離層補正を行っている。
 なお、解析には、IGS (International GNSS Service : 国際 GNSS 事業) から提供される超速報告を用いている。

図中 ~ は第2-33図のGNSS基線 ~ に対応し、空白期間は欠測を示す。

- ・GNSS 連続観測によると、の基線において、10 月中旬までのデータの解析により、9 月上旬頃以降ごくわずかな変化があることがわかった。このような基線変化は地殻変動の他、気象擾乱等でも生じることがある。

東北地方太平洋沖地震

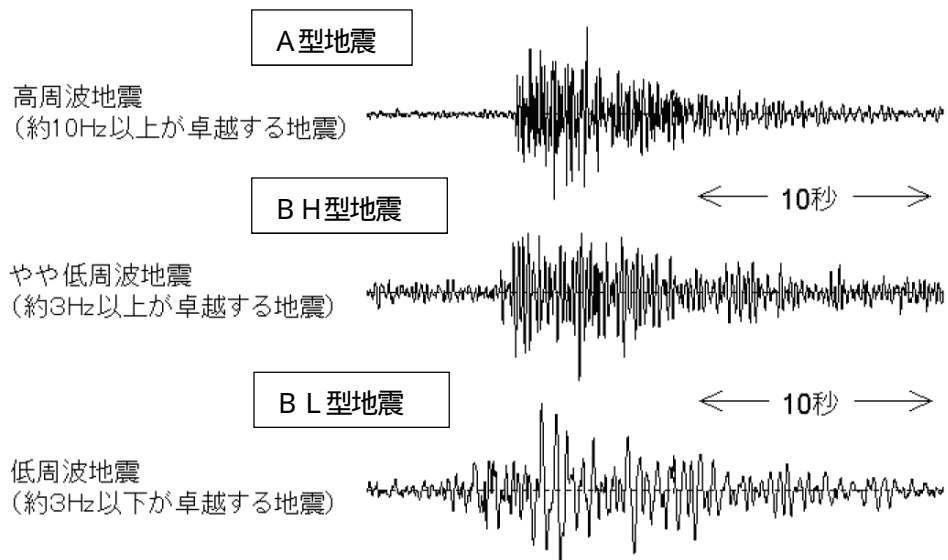


第2-32 図 御嶽山 GNSS 連続観測による基線長の長期変化(2001年1月1日~2014年11月30日)
(国): 国土地理院

2010年10月以降のデータについては解析方法を改良し、対流圏補正と電離層補正を行っている。
なお、解析には、IGS (International GNSS Service: 国際GNSS事業) から提供される超速報層を用いている。

図中 ~ は第2-33図のGNSS基線 ~ に対応し、空白期間は欠測を示す。

- ・長期的には火山活動によるとみられる変動は認められなかった。



第 2-35 図 御嶽山 主に発生している火山性地震の特徴と波形例

3 過去の火山活動

最近 2 万年間は、水蒸気噴火などの新鮮なマグマを放出しない活動のみだと考えられていた（小林, 1993 ; Kimura and Yoshida, 1999 など）が、最近の研究では、過去 1 万年間に複数回のマグマ噴火が発生していることが明らかにされている（鈴木・他, 2007 ; 及川・他, 2007 ; 鈴木・他, 2009 ; 及川・奥野, 2009）。それらによると、最近 1 万年間にマグマ噴火は 4 回発生している。また、水蒸気噴火は数百年に 1 回の割合で、堆積物として残る規模のものが発生している。1979 年噴火以前の歴史記録に残る噴火は発見されて無いが、山頂南西の地獄谷における噴気活動は、最近数百年間は継続している（及川, 2008）。

・有史以降の火山活動(は噴火年を示す)

年代	現象	活動経過・被害状況等
1978～79(昭和 53～54)年 ²⁰	地震 ²⁰	5月～。王滝村付近で群発。活動のピークは 1978 年 10 月。最大地震は 10 月 7 日 05 : 44 M5.3。
1979(昭和 54)年 ^{2,4,5,11}	中規模：水蒸気噴火 ^{2,3,4,5,11}	10 月 28 日早朝。火砕物降下。噴火場所は剣ヶ峰(主峰)南斜面小火口群 ^{2,4} 。同夜におさまる。前橋付近まで降灰。山麓で農作物被害。噴出物の総量は約 20 数万吨。(VEI2) ⁴
1984(昭和 59)年 ^{6,7,8,12}	地震、(山体崩壊) ^{6,7,11,12}	9 月 14 日。岩屑なだれ(御嶽崩れ)。場所は御嶽山南南東斜面 ^{6,8,9,10,12} 。「昭和 59(1984)年長野県西部地震(M6.8)」。御嶽山頂のやや南方に生じた山崩れは約 10 km 流下して、王滝川に達するなど所々で大規模な崩壊。死者 29 名、住宅全半壊 87 棟等。地震活動は数年後にほぼ収まった。
1988(昭和 63)年 ²¹	地震 ²¹	10 月 4～10 日。低周波地震多発 ²¹ 。
1991(平成 3)年 ¹³	ごく小規模：水蒸気噴火 ^{13,14}	5 月 13～16 日の間。噴火場所は 1979 年第 7 噴火口 ^{13,14} 。4 月 20 日山体直下で地震多発、以後 6 月まで時々地震多発。4 月 27 日～6 月微動多発、特に 5 月 12～16 日微動活発。5 月 20 日の現地調査で、1979 噴火の第 7 火口から火山灰を噴出した跡を確認。第 7 火口はこれまで噴気もなかった。(VEI0) ¹³
1992(平成 4)年 ²²	地震 ²²	11 月 12 日。火山性地震増加(52 回) ²² 。
1993(平成 5)年 ²³	地震 ²³	3 月下旬以降、山頂の南南東約 10 km 付近(長野県西部地震の余震域)で地震活動が活発化した ²³ 。
1995(平成 7)年 ²⁴	微動 ²⁴	8 月下旬に、極微小な火山性微動が合計 7 回発生 ²⁴ 。
2006(平成 18)年 ^{25,26}	地殻変動、地震、火山性微動 ^{25,26}	12 月中旬、わずかな山体膨張が始まる。12 月下旬、山頂部直下で火山性地震増加、火山性微動発生(以降、2007 年 3 月まで消長を繰り返しながら継続) ^{25,26} 。
2007(平成 19)年 ^{25,26,27}	水蒸気噴火 ^{25,26}	1～3 月。噴火場所は 79-7 火口。 1 月 16～17 日火山性地震増加(16 日 90 回、17 日 164 回)1 月 25 日一連の活動中で最大の火山性微動発生(15～20 秒の超長周期成分を含む)。 3 月 16 日噴気量増加(三岳黒沢の遠望カメラで山頂部に少量の噴気を確認、以降、ごく少量の噴気が時々認められる)。 3 月後半? ごく小規模な噴火。 5 月 29 日の現地調査で、79-7 火口北東側約 200m の範囲に 79-7 火口から噴出した火山灰を確認(噴火発生日は不明)。地震波等の研究から、御嶽山直下へのマグマ貫入(深さ 4km まで上昇)に伴って山頂直下の地震が発生 ²⁷ 。

噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考に、文献の追記を行った。

【引用文献】

- 小林武彦・他(1975) 御岳火山噴出物の化学的性質。地質調査所月報, **26**, 497-512。
- 小林武彦(1979) 1979 年御岳山火山活動。地球科学, **33**, 6, 図版 1。
- 荒牧重雄(1980) 木曾御岳山 1979 年噴火-噴火の観察と火山灰-。御岳山 1979 年火山活動および災害の調査研究報告, 1-3。
- 小林武彦(1980) 御岳山 1979 年火山活動。御岳山 1979 年火山活動および災害の調査研究報告, 4-12。
- 曾屋龍典・他(1980) 御岳山 1979 年噴火。地質ニュース, **306**, 6-13。
- 守屋以智雄(1985) 1984 年御岳南腹の大崩壊と岩屑流。月刊地球, **7**, 369-373。
- 諏訪 浩・他(1985) 1984 年御岳山岩屑なだれ堆積物の諸特性。京都大学防災研究所年報, **28B-1**, 505-518。
- 小林武彦(1987) 御嶽火山の火山体形成史と長野県西部地震による伝上崩壊の発生要因。地形, **8**, 113-125。
- Nagaoka, M. (1987) Geomorphological characteristics and causal factors of the 1984 Ontake landslide caused by the Naganoken-seibu earthquake. Bull. Geograph. Surv. Inst., **31**, 72-89。
- 長岡正利(1987) 1984 年御嶽くずれの地形特性と発生条件。地形, **8**, 95-112。
- 山田直利・小林武彦(1988) 御嶽山地域の地質。地球地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 136p。
- 三村弘二・他(1988) 1984 年御嶽岩屑なだれ-堆積物からみた流動・堆積機構-。地質調査所月報, **39**, 495-523。
- 木股文昭・他(1991) 木曾御岳火山における小規模な噴火(1991 年 5 月)。日本火山学会講演予稿集 1991, **2**, 168。

14. 名古屋大学理学部地震火山観測地域センタ・名古屋大学理学部高山地震観測所 (1991) 1991年4月・5月の御岳山の火山活動. 火山噴火予知連絡会会報, **50**, 13-15.
15. 鈴木雄介・他 (2007) 御嶽山北西山麓での約 5000 年前のスコリア流堆積物の発見とその意義. 日本地球惑星科学連合大会予稿集(CD-ROM), V156-P030.
16. 及川輝樹・他 (2007) 御岳火山の最近の噴火史-田の原周辺に分布する水蒸気噴火テフラの年代と産状-. 日本地球惑星科学連合大会予稿集(CD-ROM), V157-P014.
17. 及川輝樹 (2008) 御岳火山の歴史噴火記録の再検討と噴気活動の歴史記録-存在しなかった774, 1892年噴火-. 地質調査研究報告, **59**, 203-210.
18. 鈴木雄介・他 (2009) 御嶽山の新时期活動に関する新知見-マグマ噴火を中心として-. 日本地球惑星科学連合大会予稿集(CD-ROM), J237-005.
19. 鈴木雄介・他 (2009) 御嶽山における火山噴火緊急減災計画策定のための火山噴火履歴調査. 砂防学会研究発表会概要集, 518-519.
20. 気象庁 (1990) 長野県王滝村付近の地震の群発について. 地震予知連絡会会報, **20**, 118-119.
21. 気象庁 (1989) 火山報告 (昭和63年10月~12月), **28**.
22. 気象庁地震火山部地震火山業務課 (1993) 全国の火山活動概況 (1992年1月~12月). 火山噴火予知連絡会会報, **55**, 163-182.
23. 気象庁地震火山部地震火山業務課 (1994) 全国の火山活動概況 (1993年1月~12月). 火山噴火予知連絡会会報, **58**, 205-224.
24. 気象庁地震火山部火山課 (1996) 全国の火山活動概況 (1995年1月~12月). 火山噴火予知連絡会会報, **64**, 79-98.
25. 気象庁 (2008) 御嶽山の火山活動-2007年3月~2007年6月-. 火山噴火予知連絡会会報, **97**, 14-29.
26. 大塚仁大・藤松 淳 (2009) 御嶽山山頂付近で発生する火山性地震の判定作業. 験震時報, **72**, 85-90.
27. Nakamichi, H., et al (2009) Source mechanism of a very-long-period event at Mt. Ontake, central Japan: Response of a hydrothermal system to magma intrusion beneath the summit. J. Volcanol. Geotherm. Res., 187, 167-177.

4 情報の発表状況

気象庁が発表した情報の発表状況をまとめる。(期間：9月11日～10月11日)

月 日	時 分	発表した情報
9月11日	10時20分	火山の状況に関する解説情報(第1号)
	16時00分	火山の状況に関する解説情報(第2号)
9月16日	16時00分	火山の状況に関する解説情報(第3号)
9月27日	11時52分	噴火発生
	12時00分	噴火に関する火山観測報
	12時02分	航空路火山灰情報
	12時36分	火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)
	13時35分	降灰予報
	13時56分	航空路火山灰情報
	14時17分	航空路火山灰情報
	15時00分	航空路火山灰情報
	15時24分	噴火に関する火山観測報
	15時50分	降灰予報
	16時08分	火山の状況に関する解説情報(第4号)
	16時30分	火山の状況に関する解説情報(第5号)
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第6号)
	18時00分	噴火に関する火山観測報
	18時04分	航空路火山灰情報
	18時45分	航空路火山灰情報
	19時10分	航空路火山灰情報
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第7号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時03分	航空路火山灰情報
21時18分	降灰予報	
9月28日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第8号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第9号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時04分	航空路火山灰情報
	03時13分	降灰予報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第10号)
	06時08分	噴火に関する火山観測報
	06時13分	航空路火山灰情報
	06時20分	降灰予報
	07時20分	火山活動解説資料
	08時34分	航空路火山灰情報
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第11号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時13分	降灰予報
11時57分	航空路火山灰情報	
12時00分	火山の状況に関する解説情報(第12号)	

	15時00分	火山の状況に関する解説情報（第13号）
	15時01分	噴火に関する火山観測報
	15時10分	航空路火山灰情報
	15時12分	降灰予報
	18時00分	火山の状況に関する解説情報（第14号）
	19時30分	火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切替
	19時50分	火山の状況に関する解説情報（第15号）
	21時00分	火山の状況に関する解説情報（第16号）
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時05分	航空路火山灰情報
	21時09分	降灰予報
9月29日	00時00分	火山の状況に関する解説情報（第17号）
	03時00分	火山の状況に関する解説情報（第18号）
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時06分	航空路火山灰情報
	03時07分	降灰予報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報（第19号）
	06時00分	噴火に関する火山観測報
	06時05分	降灰予報
	06時07分	航空路火山灰情報
	07時46分	航空路火山灰情報
	09時00分	火山の状況に関する解説情報（第20号）
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時00分	航空路火山灰情報
	09時05分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報（第21号）
	15時00分	火山の状況に関する解説情報（第22号）
	15時00分	噴火に関する火山観測報
	15時01分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	16時25分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報（第23号）
	21時00分	火山の状況に関する解説情報（第24号）
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時05分	降灰予報
	21時06分	航空路火山灰情報
9月30日	00時00分	火山の状況に関する解説情報（第25号）
	03時00分	火山の状況に関する解説情報（第26号）
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時05分	降灰予報
	03時07分	航空路火山灰情報
	06時05分	火山の状況に関する解説情報（第27号）
	07時45分	火山の状況に関する解説情報（第28号）
	09時00分	火山の状況に関する解説情報（第29号）
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時05分	降灰予報

	09時05分	航空路火山灰情報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第30号)
	12時30分	火山活動解説資料
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第31号)
	15時01分	噴火に関する火山観測報
	15時04分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	16時30分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第32号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第33号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時03分	航空路火山灰情報
	21時05分	降灰予報
10月1日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第34号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第35号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時02分	航空路火山灰情報
	03時05分	降灰予報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第36号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第37号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時04分	航空路火山灰情報
	09時05分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第38号)
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第39号)
	15時00分	噴火に関する火山観測報
	15時03分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第40号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第41号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時04分	航空路火山灰情報
	21時05分	降灰予報
10月2日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第42号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第43号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時02分	航空路火山灰情報
	03時05分	降灰予報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第44号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第45号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時01分	航空路火山灰情報
	09時07分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第46号)
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第47号)
	15時00分	噴火に関する火山観測報

	15時04分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	16時30分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第48号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第49号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時02分	航空路火山灰情報
	21時05分	降灰予報
10月3日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第50号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第51号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時02分	航空路火山灰情報
	03時05分	降灰予報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第52号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第53号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時01分	航空路火山灰情報
	09時05分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第54号)
	14時00分	火山活動解説資料
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第55号)
	15時00分	噴火に関する火山観測報
	15時01分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第56号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第57号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時02分	航空路火山灰情報
	21時05分	降灰予報
10月4日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第58号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第59号)
	03時03分	航空路火山灰情報
	03時05分	降灰予報
	05時50分	噴火に関する火山観測報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第60号)
	06時06分	航空路火山灰情報
	06時20分	火山の状況に関する解説情報(第61号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第62号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時04分	航空路火山灰情報
	09時05分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第63号)
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第64号)
	15時00分	噴火に関する火山観測報
	15時02分	航空路火山灰情報

	15時05分	降灰予報
	15時40分	噴火に関する火山観測報
	15時48分	航空路火山灰情報
	16時00分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第65号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第66号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時01分	航空路火山灰情報
	21時05分	降灰予報
	23時30分	噴火に関する火山観測報
	23時41分	航空路火山灰情報
10月5日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第67号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第68号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時04分	航空路火山灰情報
	03時05分	降灰予報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第69号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第70号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時01分	航空路火山灰情報
	09時05分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第71号)
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第72号)
	15時00分	噴火に関する火山観測報
	15時02分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	16時00分	火山活動解説資料
	17時15分	火山の状況に関する解説情報(第73号)
	18時02分	火山の状況に関する解説情報(第74号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第75号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時05分	航空路火山灰情報
	21時10分	降灰予報
10月6日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第76号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第77号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時04分	航空路火山灰情報
	03時05分	降灰予報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第78号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第79号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時02分	航空路火山灰情報
	09時05分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第80号)
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第81号)
	15時00分	噴火に関する火山観測報

	15時02分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	16時00分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第82号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第83号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時01分	航空路火山灰情報
	21時05分	降灰予報
10月7日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第84号)
	01時00分	噴火に関する火山観測報
	01時14分	航空路火山灰情報
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第85号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03分05分	降灰予報
	03分13分	航空路火山灰情報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第86号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第87号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時04分	航空路火山灰情報
	09時05分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第88号)
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第89号)
	15時00分	噴火に関する火山観測報
	15時05分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	16時10分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第90号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第91号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時04分	航空路火山灰情報
	21時05分	降灰予報
10月8日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第92号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第93号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時02分	航空路火山灰情報
	03時05分	降灰予報
	04時15分	噴火に関する火山観測報
	04時26分	航空路火山灰情報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第94号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第95号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時03分	航空路火山灰情報
	09時03分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第96号)
	14時00分	火山活動解説資料
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第97号)

	15時00分	噴火に関する火山観測報
	15時04分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	16時00分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第98号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第99号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時04分	航空路火山灰情報
	21時05分	降灰予報
10月9日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第100号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第101号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時05分	航空路火山灰情報
	03時05分	降灰予報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第102号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第103号)
	09時00分	噴火に関する火山観測報
	09時03分	航空路火山灰情報
	09時05分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第104号)
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第105号)
	15時00分	噴火に関する火山観測報
	15時03分	航空路火山灰情報
	15時05分	降灰予報
	16時10分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第106号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第107号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時01分	航空路火山灰情報
	21時05分	降灰予報
	23時00分	噴火に関する火山観測報
	23時09分	航空路火山灰情報
10月10日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第108号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第109号)
	03時00分	噴火に関する火山観測報
	03時01分	航空路火山灰情報
	03時05分	降灰予報
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第110号)
	08時50分	噴火に関する火山観測報
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第111号)
	09時01分	航空路火山灰情報
	09時05分	降灰予報
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第112号)
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第113号)
	15時00分	噴火に関する火山観測報
	15時05分	航空路火山灰情報

	15時05分	降灰予報
	16時00分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第114号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第115号)
	21時00分	噴火に関する火山観測報
	21時05分	航空路火山灰情報
10月11日	00時00分	火山の状況に関する解説情報(第116号)
	03時00分	火山の状況に関する解説情報(第117号)
	06時00分	火山の状況に関する解説情報(第118号)
	09時00分	火山の状況に関する解説情報(第119号)
	12時00分	火山の状況に関する解説情報(第120号)
	15時00分	火山の状況に関する解説情報(第121号)
	16時00分	火山活動解説資料
	18時00分	火山の状況に関する解説情報(第122号)
	21時00分	火山の状況に関する解説情報(第123号)

5 災害時気象支援資料の提供

長野・岐阜地方気象台では、関係機関の救助・捜索等の災害応急活動を支援するため、御嶽山頂付近（高度約 3,000m）の風の予想と御嶽山周辺（長野県側、岐阜県側）の気象の予測を内容とした「災害時気象支援資料」を9月28日から1日2回（07時、17時）作成し、関係機関へ提供するとともに、被災者の方々にも広く利用されることを目的に長野・岐阜地方気象台ホームページに掲載した。

同資料については、救助・捜索機関の要望等を踏まえ、9月30日からは1日3回（05時、11時、17時）、御嶽山の周辺市町村（王滝村、木曾町、高山市、下呂市）毎に作成し、10月7日からは御嶽山山頂付近の気温の予測を追加し提供した（12月12日現在継続中）。

御嶽山上空の風と周辺の天気の予想														
平成26年9月28日 7時 長野地方気象台 岐阜地方気象台														
● 風の予想(御嶽山上空、高度約3000m)														
	9月28日						9月29日							
	09時	12時	15時	18時	21時	24時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24時
風向	北北西	北	北北東	北北東	北東	西南西	西	西	西	西	西北西	西北西	西北西	西北西
風速	2 m/s	3 m/s	3 m/s	2 m/s	1 m/s	1 m/s	3 m/s	3 m/s	3 m/s	4 m/s	5 m/s	6 m/s	8 m/s	10 m/s
風	○	↓	↙	○	○	○	→	→	→	→	↘	↘	↘	↘
※風凡例 ○～2m/s: ○ 3～5m/s: ↙ 6～9m/s: ↘ 10～19m/s: → 20～29m/s: ↘ 30m/s以上: ↘														
● 御嶽山周辺の風及び天気(長野県側)														
	9月28日						9月29日							
	09時	12時	15時	18時	21時	24時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24時
風向	北	北北東	北北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	西南西	西	北北西	北東	北東
風速	2 m/s	3 m/s	3 m/s	2 m/s	2 m/s	2 m/s	2 m/s	2 m/s	1 m/s	1 m/s	1 m/s	2 m/s	2 m/s	1 m/s
風	○	↙	↙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
天気														
	9月28日	高気圧に覆われ晴れますが、夜は雲が広がりやすいでしょう。												
9月29日	引き続き、高気圧に覆われ晴れますが、朝晩を中心に雲が広がりやすいでしょう。													
降水量予想	雨量: 28日06時から29日06時までの予想降水量: 0ミリ													
	ピーク: 28日から29日の1時間最大降水量: 0ミリ													
● 御嶽山周辺の風及び天気(岐阜県側)														
	9月28日						9月29日							
	09時	12時	15時	18時	21時	24時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24時
風向	北北東	北	北北東	北北東	北北東	南東	南東	北東	北北東	北北東	北北東	北北東	北北東	北北東
風速	4 m/s	3 m/s	3 m/s	3 m/s	1 m/s	1 m/s	1 m/s	3 m/s	5 m/s	4 m/s	3 m/s	2 m/s	1 m/s	1 m/s
風	↙	↓	↙	↙	○	○	○	↙	↙	↙	↙	○	○	
天気														
	9月28日	高気圧に覆われ晴れますが、夜は雲が広がりやすいでしょう。												
9月29日	引き続き、高気圧に覆われ晴れますが、朝晩を中心に雲が広がりやすいでしょう。													
降水量予想	雨量: 28日06時から29日06時までの予想降水量: 0ミリ													
	ピーク: 28日から29日の1時間最大降水量: 0ミリ													
● 御嶽山周辺に関わる警報・注意報の状況または発表の見通し														
<ul style="list-style-type: none"> 長野県の木曾地域: なし 岐阜県の飛騨南部: なし 飛騨北部: なし 														
<small>本件についての問い合わせ先: 長野地方気象台 TEL: 026-232-2034 岐阜地方気象台 TEL: 058-271-4107</small>														

復旧担当者・被災者向け気象支援資料(長野県王滝村)

平成26年12月1日 17時00分

御嶽山頂付近(高度約3000m)の風及び気温の予想

時	1日				2日				
	24時	3時	6時	9時	12時	15時	18時	21時	24時
風向	西	西	西	西	西	西	西	西	西
風速(m/s)	23	27	26	24	23	22	21	19	20
気温(°C)	-14	-15	-17	-17	-17	-17	-17	-17	-17

風向 0m/s 1-4m/s 5-9m/s 10m/s以上

※この予想は、数値予報による高度約3000mの予想です。日射の影響等により、実際の山の気象状況とは異なる場合がありますのでご注意ください。

長野県の天気解説

2日は、冬型の気圧配置が強まる見込みです。このため、曇りで雪か雨の降る所があるでしょう。

<天気変化等の留意点>

- 1日18時から2日18時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、北部で2.0ミリ、中部で1.0ミリ、南部で1.0ミリの見込みです。
 - 1日18時から2日18時までの24時間に予想される降雪量は、多い所で、北部で1.0センチ、中部で5センチ、南部で5センチの見込みです。
- 今後、気象台の発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。

王滝村付近の天気

日 / 気温	2日 / 日中の最高-1°C 夜の最低-4°C							
	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
天気	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
3時間雨量(ミリ)	1~4	1~4	1~4	1~4	1~4	1~4	1~4	1~4
気温(°C)	0	-2	-3	-2	-2	-2	-2	-4
風向	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗
風速(m/s)	4	5	5	5	5	4	5	4

風向 0m/s 1-4m/s 5-9m/s 10m/s以上

気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

問い合わせ先 長野地方気象台(026-232-2034)

復旧担当者・被災者向け気象支援資料(長野県王滝村)

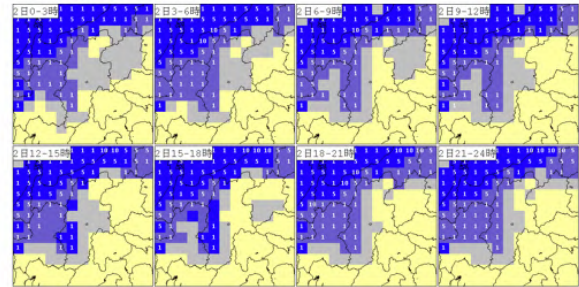
平成26年12月1日 17時00分

週間天気予報(長野県中部・南部 気温:松本)

日	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)	8日(月)
天気	曇	曇時々雨	曇	曇後晴	曇時々雨	晴時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	30/30/30/30	20	40	20	30	10	10
最高気温(°C)	6	6	8	6	5	6	8
最低気温(°C)	3	-2	-2	-3	-4	-4	-3

降水確率の1日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。

長野県付近の天気分布予報



天気: 晴れ 曇り 雨 雪 霧 範囲外 数字は雨粒子の3時間雨量 1(1~4ミリ) 5(5~9ミリ) 10(10ミリ以上)

問い合わせ先 長野地方気象台(026-232-2034)

災害時気象支援資料(長野・岐阜地方気象台)

6 気象官署のとした措置

(1) 気象庁本庁

気象庁本庁がとした措置をまとめる。

ア 防災体制等

気象庁本庁では、噴火直後の9月27日12時36分に警戒体制、同日17時00分に非常体制をとり、気象庁災害対策本部を設置し、庁内における情報収集体制を強化した。気象庁災害対策本部は、12月12日現在継続中である。

気象庁災害対策本部会議の実施状況は以下のとおり。

設置	9月27日 17時00分	第5回	9月28日 20時20分
第1回	9月27日 18時30分	第6回	9月29日 10時45分
第2回	9月27日 20時25分	第7回	9月29日 20時40分
第3回	9月28日 08時30分	第8回	9月30日 18時30分
第4回	9月28日 17時00分	第9回	10月1日 19時00分

イ 機動観測(2014年11月30日現在 継続中)

気象庁機動調査班(JMA-MOT)として火山機動観測班を現地に派遣し、噴火の状況やガス観測、降灰調査を実施した。

気象庁本庁(地震火山部火山課)職員等の派遣状況は以下のとおり。

月 日	職員の派遣状況	観測項目	観測内容
9月27日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係長 火山調査係長	降灰、ガス、噴煙	山頂から北東方向に降灰を確認。 噴煙は白色で火口縁上300m程度。 ガス平均900トン。
9月28日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係長	降灰、ガス、噴煙	
9月29日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係長 火山調査係長	降灰、ガス、噴煙	
9月30日	火山観測データ品質管理係長 調査官 噴火予知防災係	降灰、ガス、噴煙	噴煙は火口縁上300m程度。 車のフロントガラスにわずかな降灰を確認(10月2日)。 ガス臭なし。 ガス平均1000トン。
10月1日	調査官 噴火予知防災係	降灰、ガス、噴煙	
10月2日	調査官 噴火予知防災係	降灰、ガス、噴煙	
10月3日	噴火予知防災係 降灰予報係長 気象研究所火山研究部第二研究室長	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 車のフロントガラスにわずかな降灰を確認(10月3日、5日)。 ガス臭なし。 ガス平均1000トン。
10月4日	降灰予報係長 気象研究所火山研究部第二研究室長	降灰、ガス、噴煙	
10月5日	降灰予報係長 気象研究所火山研究部第二研究室長	降灰、ガス、噴煙	

10月6日	降灰予報係長 火山遠隔観測係長 気象研究所地震津波研究部主任研究官	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガスは悪天でできず。
10月7日	火山遠隔観測係長 気象研究所地震津波研究部主任研究官	降灰、ガス、噴煙	
10月8日	火山遠隔観測係長 気象研究所地震津波研究部主任研究官	降灰、ガス、噴煙	
10月9日	火山遠隔観測係長 火山調査係長	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均 500 トン。
10月10日	予報官 火山調査係長	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。
10月11日	予報官 火山調査係長	降灰、ガス、噴煙	ガス平均 100 トン。
10月12日	予報官 火山機動観測班長	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。
10月13日	火山機動観測班長 技官	降灰、ガス、噴煙	車のフロントガラスにわずかな降灰を確認(10月14日)。 ガス臭なし。
10月14日	火山機動観測班長 技官	降灰、ガス、噴煙	ガス平均 300 トン。
10月15日	火山機動観測班長 予報官 技術専門官	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。
10月16日	予報官 技術専門官	降灰、ガス、噴煙	ガス平均 300 トン。
10月17日	予報官 技術専門官	降灰、ガス、噴煙	
10月18日	予報官 火山調査係長	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均 200 トン。
10月19日	予報官 火山調査係長	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。
10月20日	予報官 火山調査係長	降灰、ガス、噴煙	ガス平均 300 トン。
10月21日	予報官 火山調査係長 技官	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均 400 トン。
10月22日	火山機動観測班長 火山遠隔観測係長 火山観測データ品質管理係員	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均 200 トン。

10月23日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係員	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均200トン。
10月24日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係員	降灰、ガス、噴煙	
10月25日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係員	降灰、ガス、噴煙	
10月26日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係員	降灰、ガス、噴煙	
10月28日	火山機動観測班長 技官	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均200トン。
10月29日	火山機動観測班長 技官	降灰、ガス、噴煙	
10月30日	火山機動観測班長 技官	降灰、ガス、噴煙	
10月31日	火山機動観測班長 技官	降灰、ガス、噴煙	
11月4日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係員	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均100トン。
11月5日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係員	降灰、ガス、噴煙	
11月6日	火山機動観測班長 火山観測データ品質管理係員	降灰、ガス、噴煙	
11月7日	予報官 技官	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均200トン。
11月8日	予報官 技術専門官	降灰、ガス、噴煙	
11月13日	火山機動観測班長 技術専門官	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス観測は悪天のため行えず。
11月14日	火山機動観測班長 技術専門官	降灰、ガス、噴煙	
11月19日	火山調査係 火山係	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均100トン。
11月20日	火山調査係 火山係	降灰、ガス、噴煙	
11月27日	火山機動観測班長 技術専門官	降灰、ガス、噴煙	噴煙は高度不明だが東に流れ。 降灰及びガス臭なし。 ガス平均200トン。
11月28日	火山機動観測班長 技術専門官	降灰、ガス、噴煙	

ウ ヘリコプターによる上空からの観測

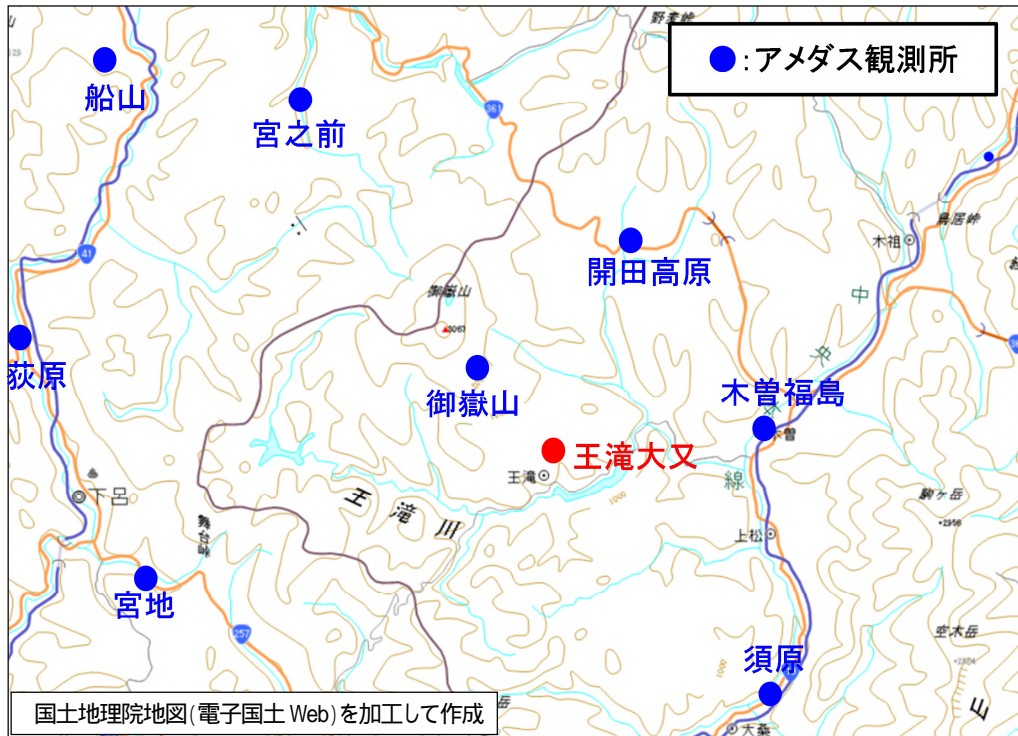
国土交通省中部地方整備局、陸上自衛隊、航空自衛隊の協力の下にヘリコプターによる上空からの観測を行った。

気象庁本庁（地震火山部火山課）職員等の派遣状況は以下のとおり。

月 日	職員の派遣状況	ヘリ機関	観測項目	観測内容
9月28日	火山防災官	中部 地方整備局	噴火の状況、 火口の位置、 降灰・噴石の状況	山頂に複数の火口を確認。噴煙は火口縁上1,000mまで上昇。噴石を山頂周辺で確認。降灰を麓まで確認。
9月28日	火山調査係長 火山観測データ品質管理係員	中部 地方整備局	噴火の状況、 火口の位置、 降灰・噴石の状況	噴煙高度は火口縁上500m程度でほぼ白色、南東方向に流れる。火口は1979年の噴火地点周辺。山頂の東から東北東にかけて変色域を確認。地獄谷周辺では谷筋に沿って4km程度変色している。風下側で弱い硫黄臭を確認。木々は変色しているが、焦げてはいない。
9月28日	火山調査官 技術専門官	陸上自衛隊	噴火の状況、 火口の位置、 降灰・噴石の状況、 ガス、熱映像	噴煙は79-7火口とそのやや下から勢いよく出ている。火口縁上500m程度まで灰が上がっている。降灰は山頂の南側3km程度まで確認。山頂の北側では剣ヶ峰付近まで黒ずんでおり、その周辺は灰色。ガス観測は数100トン程度。熱映像観測は火口付近が噴煙のためはっきり確認できず。
10月6日	火山遠隔観測係長 気象研究所地震津波研究部主任研究官	陸上自衛隊	噴火の状況、 火口の位置	新たな噴火が発生した痕跡は認められない。火口の状況は噴出状況含め、変化なし。地形の変化も特段認められない。
10月7日	火山遠隔観測係長 気象研究所地震津波研究部主任研究官	航空自衛隊	噴火の状況、 火口の位置、 降灰・噴石の状況 熱映像	噴煙高度は火口縁上400m程度で東方向に流れる。地獄谷の西斜面の噴煙が最も多く、複数の火孔が存在していると考えられるが詳細不明。熱映像観測で、複数の火孔の存在を示唆する高熱部分を確認。地獄谷の谷筋には各噴気孔から流れ出していると考えられる熱水に伴う高温域を確認。
10月9日	火山遠隔観測係長 火山観測データ品質管理係員	航空自衛隊	噴火の状況、 火口の位置、 降灰・噴石の状況	火口は雲のため不明。噴煙高度は火口縁上300～400m程度で白色、東方向に流れる。風下側で硫黄臭を確認。
10月9日	技術専門官	陸上自衛隊	噴火の状況、 火口の位置、 降灰・噴石の状況、 ガス	噴煙は雲と同程度の高度で硫黄臭を確認。わずかながら火山ガス検知の反応。ガスの採取はできず。火口周辺は雲のため不明。
10月16日	予報官 技術専門官	航空自衛隊	噴火の状況、 火口の位置、 降灰・噴石の状況、 熱映像	噴煙高度は火口縁上100m程度で白色、北東方向に流れる。火口の状況に変化はなく、地形の変化も特段認められない。新たな火口は確認されず、既存の火口からの噴煙の放出を確認。熱映像観測では変化なし。風下側で硫黄臭を観測。

エ アメダス臨時雨量観測所の設置

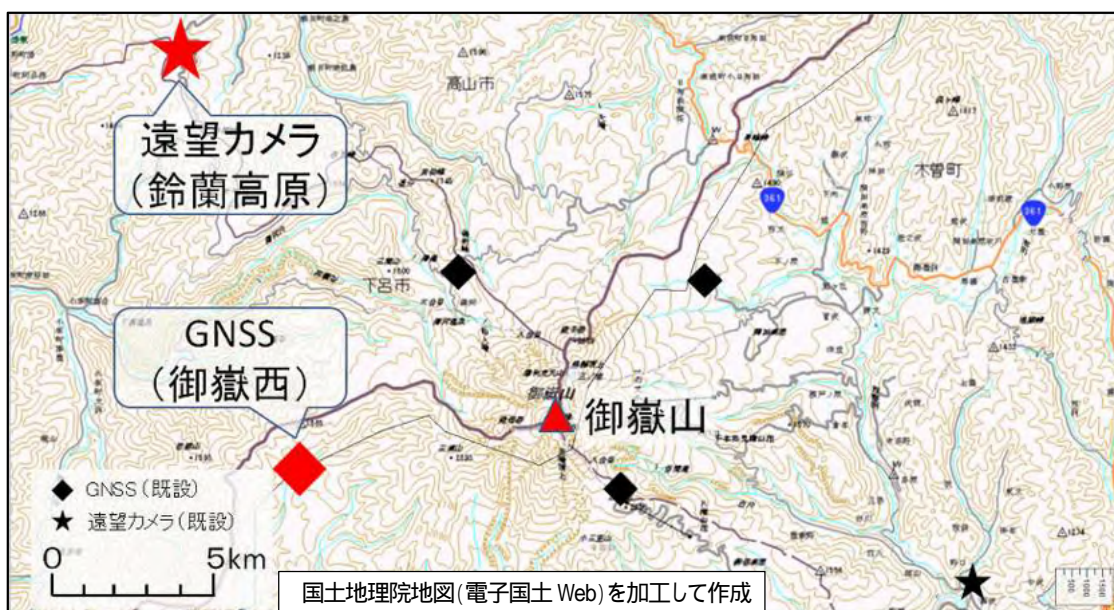
気象庁は、御嶽山の火口から南東約3kmにあるアメダス観測所「御嶽山(オンタケサン)」（降水量を観測）の観測機器の障害等に備え、観測体制の維持のため可搬型の雨量計を長野県木曽郡王滝村に臨時に設置した。臨時の観測所は名称を「王滝大又(オウタキオオマタ)」とし、10月3日から観測を開始した。当初、可搬型雨量計の通信回線には携帯電話サービスを使用し、電源はバッテリーとソーラーパネルを使用していたが、11月6日に衛星通信サービスに切り替え、冬季の観測に対応するため商用電源を引き込んで、通信回線と電源を強化した。



オ 火山観測機器の設置

気象庁は、火山噴火予知連絡会御嶽山総合観測班^()として、鈴蘭高原(御嶽山の北西約16km)に遠望カメラを設置し、11月19日から観測を開始した。また、西山麓(御嶽山の西約8km)にGNSS観測装置を設置した。

御嶽山総合観測班については、後述「キ 政府及び関係機関との連携」内の「(カ)火山噴火予知連絡会」参照。



カ 報道発表・お知らせ等

気象庁では、9月27日に発生した御嶽山噴火について報道発表を行い、火山活動の状況や警戒が必要な範囲、気象庁の対応等について説明を行った。また、御嶽山周辺に臨時に設置した観測機器についてや火山噴火予知連絡会およびその下の検討会の取り組みについても、速やかに報道発表を行った。

また、気象庁ホームページ内に特設ページ「御嶽山噴火の関連情報」を9月30日18時頃に開設し、最新の火山の状況に関する解説情報や降灰予報、火山活動解説資料などの火山関連の情報とともに気象警報・注意報、天気予報、雨の状況などの気象関連の情報へのリンクも掲載するなど、情報提供体制の強化を行った（第6-1図参照、12月12日現在継続中）。

さらに、気象庁が発表する最新の火山情報や自治体が作成する火山防災マップといった登山者等が安全確保に必要な情報を個々の火山毎にワンストップで入手できるよう、気象庁ホームページに「火山登山者向けの情報提供ページ」を新たに設け、10月10日17時から提供を開始した（第6-2図参照）。

12月12日までの報道発表・お知らせ等の実施状況は以下のとおり。

発表日時	報道発表・お知らせの表題（お知らせは で表示）
9月27日14時30分	9月27日に発生した御嶽山の噴火について - 御嶽山の噴火警戒レベルを3（入山規制）に引き上げ
9月27日18時00分	御嶽山の噴火に関する気象庁の対応について
9月27日20時30分	御嶽山における上空からの観測予定について
9月28日19時30分	御嶽山の火山活動に関する火山噴火予知連絡会拡大幹事会見解
10月3日14時00分	御嶽山周辺への臨時雨量観測所の設置について
10月10日10時00分	火山登山者向け情報提供の改善について
10月10日10時00分	火山噴火対策の検討について ~ 火山噴火予知連絡会の下に検討会を設置 ~
10月23日14時00分	火山噴火予知連絡会 火山観測体制等に関する検討会の開催について
10月23日14時00分	火山噴火予知連絡会 火山情報の提供に関する検討会の開催について
10月23日19時30分	火山噴火予知連絡会 会長会見（定例）
10月24日19時30分	火山噴火予知連絡会 火山観測体制等に関する検討会（第10回）の資料を掲載しました。
10月27日19時30分	火山噴火予知連絡会 火山情報の提供に関する検討会（第1回）の資料を掲載しました。
11月7日14時00分	火山噴火予知連絡会 火山観測体制等に関する検討会の開催について
11月12日12時30分	火山噴火予知連絡会 火山観測体制等に関する検討会（第11回）の資料を掲載しました。
11月12日14時00分	御嶽山における火山観測機器の設置について
11月12日14時00分	火山噴火予知連絡会 火山情報の提供に関する検討会の開催について
11月19日13時00分	火山噴火予知連絡会 火山情報の提供に関する検討会（第2回）の資料を掲載しました。
11月21日16時00分	火山噴火予知連絡会 火山観測体制等に関する検討会の開催について
11月21日16時00分	火山噴火予知連絡会 火山情報の提供に関する検討会の開催について
11月28日13時30分	御嶽山の噴火災害を踏まえた活火山の観測体制の強化に関する緊急提言について
11月28日20時30分	火山噴火予知連絡会 火山情報の提供に関する検討会（第3回）の資料を掲載しました。
11月29日14時00分	火山情報の提供に関する緊急提言について

第 6-1 図 気象庁ホームページ内の特設ページ「御嶽山噴火の関連情報」



気象庁 HP のトップの重要な情報に追加

ホーム > 御嶽山噴火の関連情報

御嶽山噴火の関連情報

気象庁発表情報

火山関連

- ▶ 噴火警報・予報
 - 噴火警報・予報(関東・中部地方)[地図表示]
- ▶ 火山の状況に関する解説情報
- ▶ 降灰予報
- ▶ 火山活動解説資料(臨時)
- ▶ 火山活動解説資料(御嶽山)(定期)
- ▶ 噴火に関する火山観測報

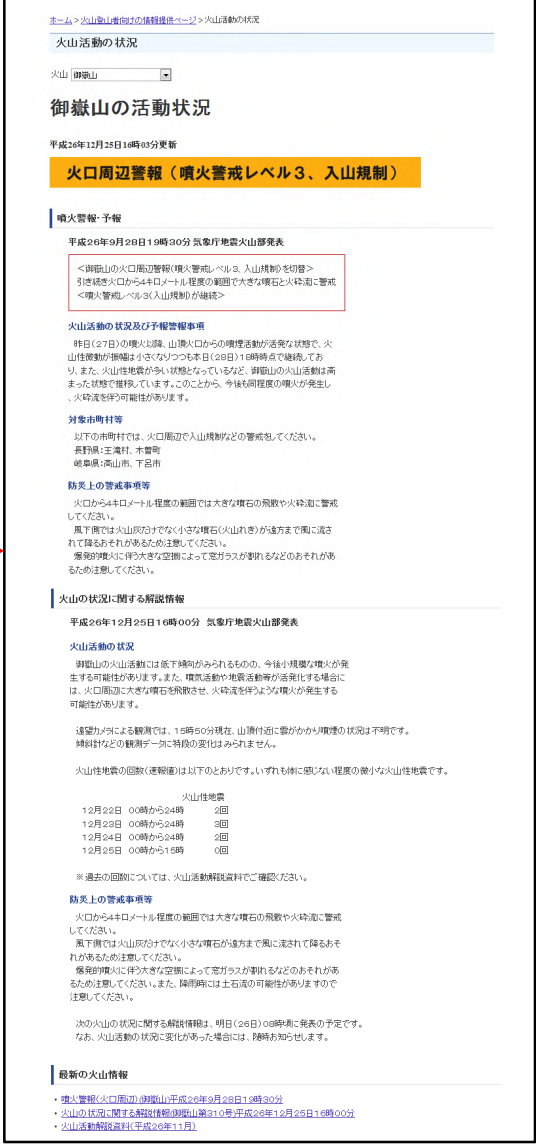
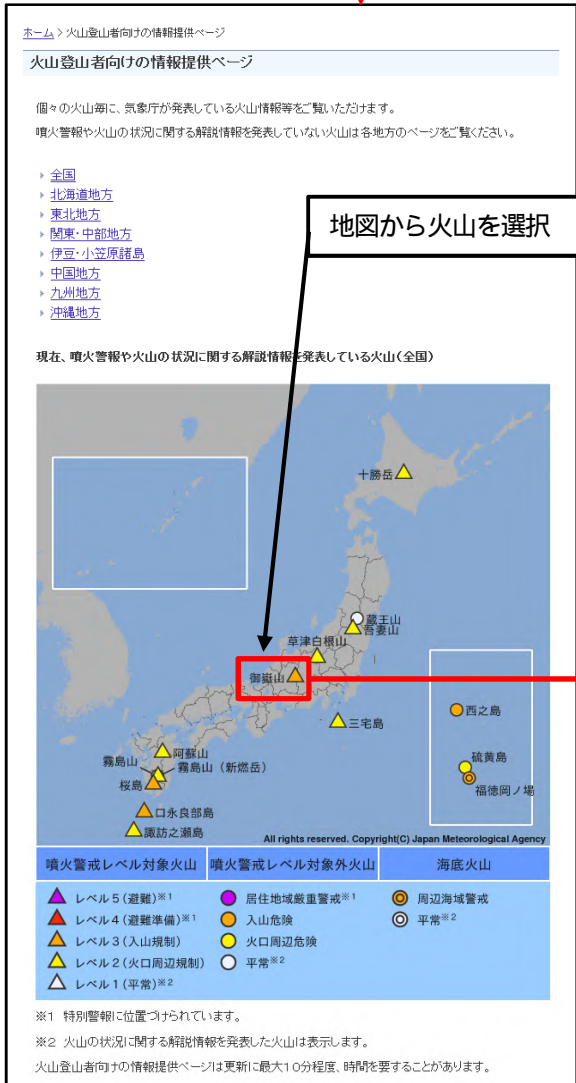
気象関連

- ▶ 復旧担当者・被災者向け気象支援資料(毎日5時、11時、17時頃更新)([長野県](#)、[岐阜県](#))
- ▶ 高解像度降水ナウキャスト (スマートフォンにも対応)
- ▶ 気象警報・注意報([長野県](#)、[岐阜県](#))
- ▶ 土砂災害警戒情報([長野県](#)、[岐阜県](#))
- ▶ 土砂災害警戒判定メッシュ情報([長野県](#)、[岐阜県](#))
- ▶ 気象情報([長野県](#)、[岐阜県](#))
- ▶ 天気予報([長野県](#)、[岐阜県](#))
- ▶ 週間天気予報([長野県](#)、[岐阜県](#))
- ▶ 解析雨量・降水短時間予報
- ▶ 風の状況(アメダス)
- ▶ 上空の風(windプロファイラ)

第6-2図 気象庁ホームページに新たに設けた「火山登山者向けの情報提供ページ」



気象庁 HP のトップにバナーを表示





平成20年3月31日運用開始

御嶽山の噴火警戒レベル

警戒レベル	火山活動の状況	住民が避難しなければならない範囲	想定される被害
5 (警戒)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	●噴火が発生し、大きな噴石や溶岩流や火砕流(噴火時に噴煙が火山口周辺に到達する)が居住地域に到達する可能性がある。あるいはそのような噴火が起きている。
4 (注意)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	●噴火活動の高まり、有感地震多発や異常な地殻変動等により、大きな噴石や溶岩流、火砕流(噴火時には噴煙が火山口周辺に到達する)が居住地域に到達する可能性がある。あるいはそのような噴火の発生が予想される。
3 (注意)	居住地域の近くで大きな噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	居住地域の近くで大きな噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	●大きな噴石の飛距離が1kmを超える噴火が発生すると予想されるが、概ね4kmを超える範囲に大きな噴石や溶岩流や火砕流が到達する可能性は低いと予想される。
2 (注意)	火山口周辺に被害を及ぼす噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	火山口周辺に被害を及ぼす噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	●噴火活動の高まりや地殻変動等により、小規模噴火の発生が予想される。
1 (警戒)	火山活動は静穏。火山活動の状況によって火山口周辺に被害を及ぼす噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	火山活動は静穏。火山活動の状況によって火山口周辺に被害を及ぼす噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。	●火山活動は静穏。火山口周辺に被害を及ぼす噴火が発生し、ある程度に危険な状態に陥っている。

注1) この図は7つのゾーンで構成した御嶽山の噴火警戒レベル(火山警戒レベル)及び3つの避難区域(避難区域)を示しています。
注2) 噴火警戒レベルは、火山活動の状況により段階的に変わります。
注3) 火山活動の状況により変わります。避難区域は、御嶽山の噴火警戒レベルに応じて変わります。

気象庁

御嶽山の噴火マップ

1994年(昭和19年)御嶽山噴火
大規模噴火(マグマ噴火)の場合
小規模噴火(水蒸気噴火)の場合

●この図は、御嶽山の噴火警戒レベル(火山警戒レベル)及び3つの避難区域(避難区域)を示しています。
●レベルは、火山活動の状況により段階的に変わります。
●避難区域は、火山活動の状況により段階的に変わります。(レベル1(警戒)の時は八丁の管内のみ出入り制限) 火山活動の状況により変わります。避難区域は、御嶽山の噴火警戒レベルに応じて変わります。

●御嶽山噴火警戒レベルに合わせた防災対策(レベル2-3、想定火口：79-7火口)

気象庁 気象庁火山噴火予報センター 火山監視・情報センター
TEL: 029-224-2041 (内線20) http://www.jma.go.jp/
 気象庁ホームページ 気象庁防災センター
 気象庁防災センター 気象庁防災センター
 TEL: 029-224-2041 (内線20) http://www.jma.go.jp/

御嶽山の活動史

723年 433年 1053年 227年

(1) 古御嶽山は現在の御嶽山よりも高かったと考えられています。
(2) 30万年以上にもよる噴火は、噴火が繰り返され、噴火が繰り返されました。噴火の噴火によりカルデラが形成されましたが、その後の噴火により埋め立てられ、現在の御嶽山が形成されました。
(3) 2万年前には、御嶽山のマグマ噴火と多くの水蒸気噴火が繰り返されてきたことがわかりました。
(4) 噴火の活動として、1979年、1991年、2007年に大規模噴火が、1994年には大規模噴火で「御嶽山」が発生しました。

火山防災マップ
火山防災マップ
過去の火山活動
過去の火山活動

キ 政府及び関係機関との連携

気象庁が行った政府及び関係機関との連携等をまとめる。

(ア)平成 26 年(2014 年)御嶽山噴火非常災害対策本部

非常災害が発生した場合において、当該災害の規模その他の状況により当該災害に係る災害応急対策を推進するため特別の必要があると認めるときは、災害対策基本法第 24 条に基づき、非常災害対策本部が設置される。御嶽山噴火については、9 月 28 日 17 時 00 分に関係省庁災害対策会議を格上げして、防災担当大臣を本部長とする平成 26 年(2014 年)御嶽山噴火非常災害対策本部を設置し、気象庁からは御嶽山の火山活動の状況や気象情報の解説等を行った。また、9 月 27 日から 10 月 17 日まで、気象庁から官邸危機管理センターに官邸リエゾンを派遣し、御嶽山の火山活動の状況等について情報提供を行った。

平成 26 年(2014 年)御嶽山噴火非常災害対策本部の実施状況は以下のとおり。

格上げ	9 月 28 日 17 時 00 分	第 8 回	10 月 6 日 16 時 40 分
第 1 回	9 月 28 日 19 時 00 分	第 9 回	10 月 7 日 18 時 10 分
第 2 回	9 月 29 日 17 時 30 分	第 10 回	10 月 8 日 18 時 00 分
第 3 回	9 月 30 日 17 時 30 分	第 11 回	10 月 10 日 18 時 15 分
第 4 回	10 月 1 日 18 時 10 分	第 12 回	10 月 14 日 17 時 05 分
第 5 回	10 月 2 日 17 時 30 分	第 13 回	10 月 15 日 17 時 15 分
第 6 回	10 月 3 日 17 時 30 分	第 14 回	10 月 16 日 19 時 30 分
第 7 回	10 月 5 日 16 時 30 分	第 15 回	10 月 28 日 16 時 20 分

上記以外で政府が開催した会議は以下のとおり。

御嶽山噴火に係る関係省庁担当者会議	9 月 27 日 15 時 00 分
御嶽山噴火に係る関係省庁災害対策会議(第 1 回)	9 月 27 日 16 時 40 分
御嶽山噴火の火山活動に関する関係省庁局長級会議(第 1 回)	9 月 27 日 19 時 30 分
御嶽山噴火に係る関係省庁災害対策会議(第 2 回)	9 月 28 日 13 時 00 分
御嶽山噴火の火山活動に関する関係省庁局長級会議(第 2 回)	9 月 29 日 18 時 15 分

(イ)平成 26 年(2014 年)御嶽山噴火非常災害現地対策本部

御嶽山噴火について、災害対策基本法に基づき 9 月 28 日 22 時 00 分に平成 26 年(2014 年)御嶽山噴火非常災害現地対策本部(以下、政府現地対策本部と記述)が設置された。気象庁からは、気象庁機動調査班(JMA-MOT)として職員を派遣し、火山活動の状況の解説等を行った。その後、救助捜索活動の終了に伴い、政府現地対策本部は 10 月 17 日 13 時 30 分に廃止された。

気象庁本庁(地震火山部火山課)職員の派遣状況は以下のとおり。

月 日	気象庁本庁からの派遣状況
9 月 27 日	1 名派遣：火山調査官(浅間山火山防災連絡事務所)(9 月 29 日まで)
9 月 29 日	1 名派遣：火山防災官(10 月 2 日まで)
10 月 2 日	1 名派遣：調査官(10 月 6 日まで)
10 月 5 日	1 名派遣：火山対策官(10 月 5 日まで)
10 月 6 日	1 名派遣：調査官(10 月 9 日まで)
10 月 9 日	1 名派遣：火山防災官(10 月 14 日まで)
10 月 14 日	1 名派遣：調査官(10 月 17 日まで)

(ウ)国土交通省の対応

国土交通省では9月27日12時36分に注意体制、同日13時45分に非常体制をとり、9月28日17時00分に国土交通省非常災害対策本部を設置した。気象庁からは御嶽山の火山活動の状況や気象情報の解説等を行った。また、9月30日に北川国土交通副大臣が現地視察を行い、地震津波防災対策室長が随行した。

国土交通省が開催した会議の実施状況は以下のとおり。

国土交通省関係局長等会議（第1回）	9月28日 10時30分
国土交通省非常災害対策本部設置	9月28日 17時00分
国土交通省幹部連絡会議（第1回）	9月29日 09時45分
国土交通省幹部連絡会議（第2回）	9月30日 16時30分
国土交通省災害対策連絡調整会議（第1回）	10月3日 18時30分
国土交通省災害対策連絡調整会議（第2回）	10月10日 13時00分

(エ)各党災害対策本部

御嶽山噴火について、各党では災害対策本部会議等を開催し、気象庁からは御嶽山の火山活動の状況や気象情報の解説等を行った。

各会議の開催状況は以下のとおり。

公明党 災害対策本部	9月29日 10時35分
自民党 平成26年御嶽山噴火非常災害対策本部（第1回）	9月29日 15時10分
民主党 総合災害対策本部 御嶽山噴火災害対策本部会議	9月29日 15時30分
みんなの党 火山噴火災害対策本部	10月1日 09時00分
自民党 平成26年御嶽山噴火非常災害対策本部（第2回）	10月7日 12時15分
公明党 災害対策本部・大規模火山災害対策PT合同会合	10月30日 13時30分

(オ)国会質疑対応

御嶽山噴火について、国会の委員会で気象庁が対応した質疑は以下のとおり。

月 日	対応
10月3日	衆議院 予算委員会：稲田 朋美議員（自由民主党） 答弁者：内閣総理大臣、国土交通大臣
10月3日	衆議院 予算委員会：古屋 範子議員（公明党） 答弁者：内閣総理大臣
10月10日	衆議院 災害対策特別委員会：泉原 保二議員（自由民主党） 答弁者：気象庁長官
10月10日	衆議院 災害対策特別委員会：漆原 良夫議員（公明党） 答弁者：気象庁長官
10月10日	衆議院 災害対策特別委員会：井出 庸生議員（日本維新の会） 答弁者：気象庁長官
10月10日	衆議院 災害対策特別委員会：高橋 千鶴子議員（日本共産党） 答弁者：気象庁長官
10月15日	衆議院 国土交通委員会：坂井 学議員（自由民主党） 答弁者：気象庁長官
10月15日	衆議院 国土交通委員会：泉 健太議員（民主党） 答弁者：国土交通大臣、気象庁長官
10月15日	衆議院 国土交通委員会：百瀬 智之議員（日本維新の会） 答弁者：国土交通大臣、気象庁長官
10月17日	参議院 災害対策特別委員会：若林 健太議員（自由民主党） 答弁者：気象庁長官
10月17日	参議院 災害対策特別委員会：大野 泰正議員（自由民主党） 答弁者：大塚国土交通大臣政務官
10月17日	参議院 災害対策特別委員会：山本 博司議員（公明党） 答弁者：気象庁長官
10月23日	衆議院 災害対策特別委員会：今井 雅人議員（日本維新の会） 答弁者：気象庁長官
11月4日	参議院 予算委員会：長沢 広明議員（公明党） 答弁者：気象庁長官
11月12日	衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員会：小川 淳也議員（民主党） 答弁者：地震火山部長

(カ)火山噴火予知連絡会

火山噴火予知連絡会では、9月28日に御嶽山の火山活動に関する火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し、御嶽山の火山活動について検討し、今後も同程度の噴火が発生し、火砕流を伴う可能性がある旨の見解を発表した(第6-3図参照)。

また、10月23日には第130回火山噴火予知連絡会を開催し、御嶽山の火山活動は低下しつつあるが、今後も同程度の噴火の可能性があると評価した(第6-4図参照)。

さらに、御嶽山の火山活動評価のための各種観測計画等の検討及び総合的な調整、並びに観測の実施と情報共有を目的とした、御嶽山総合観測班(班長:名古屋大学大学院環境学研究科教授 山岡 耕春)を設置することとした。

火山噴火予知連絡会は、御嶽山の噴火を踏まえ、火山観測体制等に関する検討会及び火山情報の提供に関する検討会を開催することとした。

火山観測体制等に関する検討会は、10月24日、11月12日、11月28日に開催し、活火山の観測体制の強化について検討し、11月28日に「御嶽山の噴火災害を踏まえた活火山の観測体制の強化に関する緊急提言」を取りまとめた。

火山情報の提供に関する検討会は、10月27日、11月19日、11月28日に開催し、登山者等に対する火山活動の情報提供のあり方について検討し、11月28日に「火山情報の提供に関する緊急提言」を取りまとめた。

両検討会とも今年度中に最終報告を取りまとめるため、引き続き検討会を開催することとした。

<p>報道発表資料 平成26年9月28日 気象庁</p>
<p>御嶽山の火山活動に関する火山噴火予知連絡会拡大幹事会見解</p>
<p>御嶽山では、9月27日11時52分頃に火砕流を伴う噴火が発生しました。その後も火山活動が高まった状態となっており、今後も噴火が発生する可能性があります。</p>
<p>御嶽山では、9月27日11時52分頃に噴火が発生しました。今回の噴火の規模は1979年の噴火と同程度と考えられます。火砕流が南西方向に3キロメートル以上流下し、気象レーダーの観測によると噴煙は東に流れ、その高度は火口上約7,000メートルと推定されます。その後の上空からの調査によると、噴火は剣ヶ峰山頂の南西側で北西から南東にのびる火口列から発生したとみられ、大きな噴石が火口列から1キロメートルの範囲に飛散しているのが確認されました。火砕流は発生しましたが、地獄谷付近で樹木等が焦げたような痕跡は認められませんでした。また、噴出した火山灰には新鮮なマグマに由来する物質は確認されておらず、今回の噴火は水蒸気噴火であったと考えられます。御嶽山で噴火が発生したのは2007年以来です。</p> <p>この噴火の11分前から発生し始めた火山性微動は、噴火発生以降、振幅の大きい状態が約30分間続きました。また、傾斜計により、噴火の7分前から山側が隆起、噴火後からは山側が沈降するような変化が観測されました。</p> <p>御嶽山では、1979年に有史後初めての噴火が発生し、1991年、2007年にもごく小規模な噴火が発生しました。それ以降、火山活動は概ね静穏に経過してきましたが、今年9月10日から11日にかけて剣ヶ峰山頂付近を震源とする火山性地震が一時的に増加し、14日以降は低周波地震が時折発生しました。火山性地震は次第に減少していました。地殻変動や山頂部の噴気活動には、特段の変化はみられていませんでした。今回の噴火前の変化は、ごく小規模な噴火が発生した2007年の状況に比べても小さいものでした。</p> <p>9月27日の噴火以降、山頂火口からの噴煙活動が活発な状態で、火山性微動が振幅は小さくなりつつも9月28日15時時点で継続しており、また、火山性地震が多い状態となっているなど、御嶽山の火山活動は高まった状態と推移しています。このことから、今後も同程度の噴火が発生し、火砕流を伴う可能性があります。</p> <p>一方、GNSSによる地殻変動観測では特段の変化は観測されておらず、現時点で大規模な噴火につながる兆候は認められません。</p> <p>噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振に注意してください。また、降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。</p>

第6-3図 御嶽山の火山活動に関する火山噴火予知連絡会拡大幹事会見解

第130回火山噴火予知連絡会
御嶽山の火山活動に関する検討結果

御嶽山の火山活動には低下傾向がみられるものの、今後噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火が発生する可能性があります。

御嶽山では、9月27日に水蒸気噴火が発生しました。噴火は剣ヶ峰山頂の南西側に新たに形成された北西から南東に伸びる火口列で発生し、大きな噴石が火口列から約1キロメートルの範囲に飛散しました。また、火砕流が発生し、火口列から、南西方向に約2.5キロメートル及び北西方向に約1.5キロメートル流下しました。火砕流は発生しましたが、地獄谷付近では樹木が焦げたような痕跡は認められませんでした。

9月27日以降、活発な噴煙活動と連続的な火山灰の放出が続きましたが、10月11日以降は火山灰を含む有色の噴煙は観測されず、噴煙活動も徐々に低下してきています。

二酸化硫黄の放出量は、噴火発生直後から10月3日までは1日あたりおよそ500トンから1500トンと多い状態で推移しましたが、その後は1日あたりおよそ100トンから500トンとやや少ない状態となっています。

火山性微動は振幅の増減を繰り返していましたが、10月7日以降は検知できない程度の大きさになっています。火山性地震は噴火発生直後には多発しましたが、その後は次第に減少してきています。

御嶽山東麓の水準測量では、2006年から2013年にかけて隆起が観測されていましたが、噴火後の測量で沈降が観測されました。なお、傾斜計でも、噴火直前に山側上がりの変化がみられ、噴火とともに山側下がりととなりました。

以上のことから、火山活動には低下傾向がみられるものの、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

また、噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火となる可能性があります。積雪期に火砕流が発生したり、熱水が流出したりした場合には、火山泥流が発生する可能性があります。

今後も噴気活動や地震活動、地殻変動等のデータを注意深く見守る必要があります。

引き続き、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振に注意してください。また、降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

第6-4図 第130回火山噴火予知連絡会 御嶽山の火山活動に関する検討結果

(2) 東京管区気象台及び同管内気象官署の措置

東京管区気象台及び東京管内気象官署がとった措置をまとめる。

ア 東京管区気象台

(ア) 防災体制等

東京管区気象台は、9月27日12時36分に警戒体制をとり、同日17時00分に非常体制に移行し、災害対策本部を設置、台内各課・管内各官署の情報収集体制を強化した。12月12日現在継続中。

災害対策本部会議の開催状況等は以下のとおり。

月 日	東京管区気象台災害対策本部会議開催状況等
9月27日	12時36分 警戒体制 17時00分 非常体制及び災害対策本部設置 23時00分 第1回災害対策本部会議開催（書面開催）
9月28日	10時00分 第2回災害対策本部会議開催 17時00分 第3回災害対策本部会議開催
9月29日	10時00分 第4回災害対策本部会議開催
9月30日	10時40分 第5回災害対策本部会議開催
10月1日	13時00分 第6回災害対策本部会議開催
10月2日	10時30分 第7回災害対策本部会議開催
10月3日	10時40分 第8回災害対策本部会議開催 17時35分 第9回災害対策本部会議開催
10月4日	13時15分 第10回災害対策本部会議開催
10月5日	10時00分 第11回災害対策本部会議開催
10月6日	10時45分 第12回災害対策本部会議開催
10月7日	16時00分 第13回災害対策本部会議開催
10月8日	09時45分 第14回災害対策本部会議開催
10月9日	10時15分 第15回災害対策本部会議開催
10月10日	10時30分 第16回災害対策本部会議開催 18時00分 第17回災害対策本部会議開催
10月14日	11時30分 第18回災害対策本部会議開催
10月22日	10時30分 第19回災害対策本部会議開催

(イ) 政府現地対策本部

政府現地対策本部へ以下のとおり職員を派遣した。

月 日	東京管区気象台からの派遣状況
9月28日	本部員1名派遣：気象防災部長（10月3日まで）
10月2日	本部員1名派遣：気象防災部次長（10月8日まで） 連絡員1名派遣：総務部業務課管理係員（10月4日まで）
10月7日	本部員1名派遣：危機管理調整官（10月15日まで） 連絡員1名派遣：気象防災部防災調査課防災情報管理係長（10月10日まで）
10月15日	本部員1名派遣：気象防災部次長（10月17日まで）

(ウ) 降灰調査の実施状況

降灰状況について電話による聞き取り調査を以下のとおり実施した。

9月28日 降灰なしを確認
奥多摩町（町役場）

(エ)その他の対応状況

・アメダス観測所臨時点検

9月30日 飯田(長野県) 宮田高原(長野県) 長野地方気象台への広域応援
10月8日 御嶽山(長野県) 長野地方気象台への広域応援

月 日	各種対応状況等
9月28日	07時00分 関東、中部地方整備局に長野・岐阜地方気象台が作成した災害時気象支援資料のメールによる提供開始(1日2回(07時、17時)、10月1日17時でメールによる提供を終了。) 中部地方整備局には17時00分より名古屋地方気象台から提供
10月3日	王滝大又臨時雨量観測所を設置
11月6日	王滝大又臨時雨量観測所の通信回線・電源強化

イ 長野地方気象台

(ア)防災体制等

長野地方気象台は、9月27日12時36分に警戒体制をとり、災害対策連絡会議を設置、台内各課の情報収集体制を強化した。同日17時00分には、非常体制に移行し、災害対策本部を設置した。12月12日現在継続中。

災害対策本部会議の開催状況等は以下のとおり。

月 日	長野地方気象台災害対策本部会議開催状況等
9月27日	12時36分 警戒体制 13時30分 第1回災害対策連絡会議開催 16時30分 第2回災害対策連絡会議開催 17時00分 非常体制及び災害対策本部設置 23時00分 第3回災害対策本部会議開催
9月28日	09時00分 第4回災害対策本部会議開催 21時00分 第5回災害対策本部会議開催
9月29日	11時30分 第6回災害対策本部会議開催 17時50分 第7回災害対策本部会議開催
9月30日	10時30分 第8回災害対策本部会議開催 19時00分 第9回災害対策本部会議開催
10月1日	09時00分 第10回災害対策本部会議開催 22時00分 第11回災害対策本部会議開催
10月2日	11時00分 第12回災害対策本部会議開催 18時00分 第13回災害対策本部会議開催
10月3日	13時30分 第14回災害対策本部会議開催 20時00分 第15回災害対策本部会議開催
10月4日	21時30分 第16回災害対策本部会議開催
10月5日	21時30分 第17回災害対策本部会議開催
10月6日	15時30分 第18回災害対策本部会議開催 18時30分 第19回災害対策本部会議開催
10月7日	18時00分 第20回災害対策本部会議開催
10月8日	18時30分 第21回災害対策本部会議開催
10月9日	14時30分 第22回災害対策本部会議開催

	18時30分	第23回災害対策本部会議開催
10月10日	20時00分	第24回災害対策本部会議開催
10月11日	16時30分	第25回災害対策本部会議開催
10月14日	17時30分	第26回災害対策本部会議開催
10月15日	20時00分	第27回災害対策本部会議開催
10月16日	20時10分	第28回災害対策本部会議開催
10月17日	14時30分	第29回災害対策本部会議開催
10月21日	17時30分	第30回災害対策本部会議開催
10月22日	19時30分	第31回災害対策本部会議開催

(イ)政府現地対策本部

政府現地対策本部へ以下のとおり職員を派遣した。

月 日	長野地方気象台からの派遣状況	
9月28日	22時00分	政府現地対策本部設置 (以下、「合同」は県災害対策会議と合同開催を意味する。)
9月29日	08時00分	第1回政府現地対策本部会議(合同) (観測予報管理官、火山防災官、防災指導係長)
	17時00分	第2回政府現地対策本部会議(合同) (予報官)
9月30日	08時00分	第3回政府現地対策本部会議(合同) (防災業務係長)
	08時30分	第4回政府現地対策本部会議 (防災業務係長)
	19時00分	第4回政府現地対策本部会議(合同) (防災業務係長)
	19時20分	第5回政府現地対策本部会議 (防災業務係長)
10月1日	08時00分	第5回政府現地対策本部会議(合同) (水害対策気象官)
	08時30分	第6回政府現地対策本部会議 (水害対策気象官)
	17時00分	第6回政府現地対策本部会議(合同) (水害対策気象官)
	19時20分	第7回政府現地対策本部会議 (水害対策気象官)
10月2日	08時00分	第7回政府現地対策本部会議(合同) (観測予報管理官、技術主任)
	08時30分	第8回政府現地対策本部会議 (技術主任)
	17時25分	第8回政府現地対策本部会議(合同) (技術主任)
	17時45分	第9回政府現地対策本部会議 (技術主任)
10月3日	18時30分	第9回政府現地対策本部会議(合同) (次長)
	19時00分	第11回政府現地対策本部会議 (次長)
10月4日	17時30分	第10回政府現地対策本部会議(合同) (調査官)
10月6日	17時30分	第11回政府現地対策本部会議(合同) (防災管理官、防災気象官)
10月7日	17時30分	第12回政府現地対策本部会議(合同) (東海地震防災官)
10月8日	17時00分	第13回政府現地対策本部会議(合同) (気象情報官)
10月9日	17時00分	第20回政府現地対策本部会議 (予報官)
10月10日	17時00分	第14回政府現地対策本部会議(合同) (予報官)
10月11日	17時15分	第15回政府現地対策本部会議(合同) (予報官)
10月15日	19時15分	第18回政府現地対策本部会議(合同) (予報官)
	19時25分	第30回政府現地対策本部会議 (予報官)
10月16日	17時30分	第19回政府現地対策本部会議(合同) (次長、土砂災害気象官)
	20時40分	第32回政府現地対策本部会議 (土砂災害気象官)
10月17日	13時30分	政府現地対策本部廃止

(ウ)長野県災害対策本部

長野県災害対策本部員会議へ職員を派遣し、火山の状況等について解説を行った。

月 日	長野県災害対策本部員会議と職員派遣状況	
9月27日	13時20分	長野県警戒・対策本部設置
	14時10分	長野県御嶽山噴火災害対策本部設置 (以下、本部員会議と記述。 「合同」は政府現地対策本部会議と合同開催を意味する。)
	15時00分	第1回本部員会議 (火山防災官、防災業務係長)
	18時20分	第2回本部員会議 (火山防災官、防災業務係長)
9月28日	08時30分	第3回本部員会議 (火山防災官、土砂災害気象官)
	11時00分	第4回本部員会議 (火山防災官、土砂災害気象官)
	14時30分	第5回本部員会議 (火山防災官、土砂災害気象官)
9月29日	08時00分	第6回本部員会議(合同)(観測予報管理官、火山防災官、防災指導係長)
	17時00分	第7回本部員会議(合同) (予報官)
9月30日	08時00分	第8回本部員会議(合同) (防災業務係長)
	19時00分	第9回本部員会議(合同) (防災業務係長)
10月1日	08時00分	第10回本部員会議(合同) (水害対策気象官)
	17時00分	第11回本部員会議(合同) (水害対策気象官)
10月2日	08時00分	第12回本部員会議(合同) (観測予報管理官、技術主任)
	17時25分	第13回本部員会議(合同) (技術主任)
10月3日	18時30分	第14回本部員会議(合同) (次長)
10月4日	17時30分	第15回本部員会議(合同) (調査官)
10月6日	17時30分	第16回本部員会議(合同) (防災管理官、防災気象官)
10月7日	17時30分	第17回本部員会議(合同) (東海地震防災官)
10月8日	17時00分	第18回本部員会議(合同) (気象情報官)
10月10日	17時00分	第19回本部員会議(合同) (予報官)
10月11日	17時15分	第20回本部員会議(合同) (予報官)
10月15日	19時15分	第23回本部員会議(合同) (予報官)
10月16日	17時30分	第24回本部員会議(合同) (次長、土砂災害気象官)

(エ)降灰調査の実施状況

降灰状況について電話による聞き取り調査を以下の市町村について実施した。

9月27、28日

降灰を確認

木祖村(村役場) 南箕輪村(村役場) 箕輪町(町役場) 辰野町(町役場)
大桑村(村役場) 上松町(町役場) 松川町(町役場) 宮田村(村役場)
飯島町(町役場、南消防署) 原村(村役場) 王滝村(村役場) 岡谷市(市役所)
木曾町(町役場、木曾消防署) 伊那市(市役所、高遠消防署) 茅野市(市役所)

降灰なしを確認

下諏訪町(町役場) 佐久穂町(町役場) 立科町(町役場) 北相木村(村役場)
南相木村(村役場) 南牧村(村役場) 諏訪市(市役所) 塩尻市(市役所)
駒ヶ根市(市役所、北消防署) 佐久市(市役所) 小海町(町役場) 川上村(村役場)
松本市(梓川消防署安曇出張所、本郷消防署山辺出張所)
富士見町(町役場、富士見消防署)

10月10日 降灰なしを確認

王滝村（村役場） 木曽町（町役場、日義支所、開田高原支所、三岳支所、木曽温泉、新開黒川簡易郵便局）、上松町（町役場）

(オ) 気象庁機動調査班

9月27日、気象庁機動調査班（JMA-MOT）として職員3名（防災管理官、東海地震防災官、主任技術専門官）を王滝村、木曽町に派遣し、自治体からの要望や状況把握を行った。

(カ) その他の対応状況

・アメダス観測所臨時点検

9月29日 諏訪、辰野、高遠、伊那

9月30日 木曽平沢、開田高原、木曽福島

南木曽、須原、飯田、宮田高原、飯島、原村、御嶽山については東京管区气象台、名古屋、甲府地方气象台が実施。

月 日	各種対応状況等
9月28日	07時00分 災害時気象支援資料の関係機関へのFAXによる提供及び气象台ホームページへの掲載開始（9月30日まで1日2回（07時、17時）、9月30日17時から1日3回（05時、11時、17時）、10月2日17時でFAXによる提供を終了。）
9月28日	07時20分 「御嶽山火山活動解説資料」を関係機関に提供 （以降、発表の都度提供）
10月4日	11時30分 台風第18号の接近に伴い県庁災害対策本部にて説明会を実施 （職員3名派遣：予報官2名、防災気象官）
10月11日	防災担当大臣現地視察、政府調査団対応のため、職員2名（業務・危機管理官、観測予報管理官）を王滝村役場に派遣
10月12日	13時30分 台風第19号の接近に伴い県庁災害対策本部にて説明会を実施 （職員2名派遣：観測予報管理官、防災業務係長）

ウ 岐阜地方气象台

(ア) 防災体制等

岐阜地方气象台は、9月27日12時00分に注意体制、12時36分に警戒体制、17時00分に非常体制をとり災害対策本部を設置、台内の情報収集、部外対応体制を強化した。その後、10月17日16時00分に警戒体制に移行し、12月12日現在継続中。

災害対策本部会議の開催状況等は以下のとおり。

月 日	岐阜地方气象台災害対策本部会議開催状況等
9月27日	12時00分 注意体制
	12時36分 警戒体制
	12時50分 第1回災害対策連絡会議開催
	17時00分 非常体制及び災害対策本部設置
	18時30分 第2回災害対策本部会議開催
	20時20分 第3回災害対策本部会議開催
9月28日	09時05分 第4回災害対策本部会議開催
	18時30分 第5回災害対策本部会議開催

9月29日	09時00分 第6回災害対策本部会議開催 16時50分 第7回災害対策本部会議開催
9月30日	09時00分 第8回災害対策本部会議開催
10月3日	10時00分 第9回災害対策本部会議開催
10月17日	16時00分 非常体制から警戒体制に移行

(イ) 岐阜県災害警戒本部

岐阜県災害警戒本部会議へ職員を派遣し、御嶽山の今後の見通し等について解説を行った。

月 日	岐阜県警戒本部会議と職員派遣状況
9月27日	13時15分 岐阜県火山災害警戒本部設置
9月28日	10時00分 岐阜県火山災害警戒本部本部員会議（第3回） 防災管理官、東海地震防災官を派遣 火山活動の今後の見通し等について解説
10月3日	16時00分 岐阜県火山災害警戒本部本部員会議（第6回） 防災気象官、予報官を派遣 今後の天気の見通しについて解説

(ウ) 降灰調査の実施状況

降灰状況について電話による聞き取り調査を以下の市町村について実施した。

9月28日 降灰を確認

下呂市（小坂振興事務所、下呂警察署） 高山市（高根支所、朝日支所）
東白川村（村役場） 中津川市（付知総合事務所）

降灰なしを確認

高山市（市役所、高山警察署） 中津川市（市役所、北消防署）
恵那市（市役所） 美濃加茂市（市役所） 可児市（市役所）
川辺町（町役場） 七宗町（町役場） 八百津町（町役場）
白川町（町役場） 御嵩町（町役場）

10月10日 降灰なしを確認

下呂市（濁河温泉）

(エ) その他の対応状況

・アメダス観測所臨時点検

9月30日 船山、宮之前、萩原、金山、高山

10月1日 宮地、付知、黒川

月 日	各種対応状況等
9月28日	07時00分 災害時気象支援資料の関係機関へのFAXによる提供及び気象台ホームページへの掲載開始（9月30日まで1日2回（07時、17時）、9月30日17時から1日3回（05時、11時、17時）、10月2日17時でFAXによる提供を終了。）
9月28日	07時20分 「御嶽山火山活動解説資料」を関係機関に提供 （以降、発表の都度提供）

エ 名古屋地方気象台

(ア)防災体制等

名古屋地方気象台は、9月27日12時36分に注意体制をとり、災害対策連絡会議を設置した。12月12日現在注意体制継続中。

災害対策連絡会議開催状況等は以下のとおり。

月 日	名古屋地方気象台災害対策連絡会議開催状況等
9月27日	12時36分 注意体制
9月28日	09時30分 第1回災害対策連絡会議開催
9月29日	10時30分 第2回災害対策連絡会議開催
10月1日	09時30分 第3回災害対策連絡会議開催

(イ)政府現地対策本部

政府現地対策本部へ以下のとおり職員を派遣した。

月 日	名古屋地方気象台からの派遣状況
10月3日	1名派遣：予報官（10月8日まで）

(ウ)降灰調査の実施状況

降灰状況について電話による聞き取り調査を以下の市町村について実施した。

9月28日 降灰なしを確認

設楽町（町役場） 豊田市（市役所） 瀬戸市（瀬戸市消防本部）

春日井市（春日井市消防本部） 犬山市（犬山市消防本部）

豊根村（新城市消防署豊根分遣出張所、新城市消防署富山駐在所）

(エ)その他の対応状況

・アメダス観測所臨時点検

9月30日 南木曽（長野県） 須原（長野県） 長野地方気象台への広域応援

10月1日 飯島（長野県） 長野地方気象台への広域応援

月 日	各種対応状況等
9月27日	16時 気象庁職員による現地調査のため中部地方整備局にヘリ出動要請
9月28日	17時00分 中部地方整備局に長野・岐阜地方気象台が作成した災害時気象支援資料のメールによる提供開始（1日2回（07時、17時）、10月2日17時でメールによる提供を終了。）

オ 前橋地方気象台

(ア)防災体制

前橋地方気象台は、9月27日13時30分に注意体制をとり、10月17日14時00分に注意体制を解除した。

(イ)降灰調査の実施状況

9月27日、前橋地方気象台において降灰観測を実施し、降灰のないことを確認した。また、降灰状況について電話による聞き取り調査を以下の市町村について実施した。

9月27日 降灰なしを確認

富岡市（富岡警察署） 藤岡市（藤岡警察署） 甘楽町（町役場）

下仁田町（町役場） 南牧村（村役場） 上野村（村役場） 神流町（町役場）

長野県佐久穂町（気象台職員宅）

カ 甲府地方気象台

(ア)防災体制

甲府地方気象台は、9月27日13時35分に注意体制をとり、10月17日16時40分に注意体制を解除した。

(イ)政府現地対策本部

政府現地対策本部へ以下のとおり職員を派遣した。

月 日	甲府地方気象台からの派遣状況
10月12日	1名派遣：予報官（10月17日まで）

(ウ)降灰調査の実施状況

9月27日、甲府地方気象台において降灰観測を実施し、降灰を確認した。また、降灰状況について電話による聞き取り調査等を以下の市町村について実施した。

9月27日 降灰を確認

北杜市（北杜消防署、北杜消防署小淵沢分署、韮崎消防署白州分署）

9月28日 降灰を確認

笛吹市（気象台職員宅）、韮崎市（市役所）、中央市（市役所）、北杜市（市役所）、
富士川町（町役場）、甲府市（市役所）、南アルプス市（市役所）

降灰なしを確認

甲斐市（市役所）、山梨市（市役所）、甲州市（市役所）、早川町（町役場）、
丹波山村（村役場）、大月市（市役所）、都留市（市役所）

(エ)その他の対応状況

・アメダス観測所臨時点検

9月29日 大泉、韮崎

10月1日 原村（長野県） 長野地方気象台への広域応援

キ 新潟地方気象台

(ア)政府現地対策本部

政府現地対策本部へ以下のとおり職員を派遣した。

月 日	新潟地方気象台からの派遣状況
10月8日	1名派遣：予報官（10月13日まで）

ク 熊谷地方気象台

(ア)降灰調査の実施状況

9月27日、熊谷地方気象台において降灰観測を実施し、降灰のないことを確認した。また、降灰状況について電話による聞き取り調査を以下の市町について実施した。

9月27日 降灰なしを確認

秩父市（秩父消防本部）、本庄市（児玉郡市広域消防本部）

9月28日 降灰なしを確認

秩父市（市役所）、本庄市（市役所）、皆野町（町役場）、長瀨町（町役場）、
小鹿野町（町役場）、美里町（町役場）、神川町（町役場）、寄居町（町役場）

9月29日 降灰なしを確認
蓮田市（市役所）

ケ 静岡地方気象台

(ア)降灰調査の実施状況

降灰状況について電話による聞き取り調査を以下のとおり実施した。

9月28日 降灰なしを確認
静岡市（静岡市消防局、静岡市千代田消防署井川出張所）

(イ)その他の対応状況

9月29日に静岡県で開催された危機管理連絡調整会議に出席（防災管理官、火山防災官、東海地震防災官）し、降灰予報や御嶽山の状況等について解説を行った。

コ 成田航空地方気象台

成田航空地方気象台は、以下の対応を実施した。

・9月27日の運航用飛行場予報（TAF）及び時系列予報において火山灰（VA）を予想。

月 日	各種対応状況等
9月27日	15時05分（0605UTC） TAF・時系列予報に21時（12UTC）にかけてVAを付加
	20時09分（1109UTC） TAF・時系列予報に翌日03時（18UTC）にかけVAを付加
	21時02分（1202UTC） 飛行場周辺への降灰実況が無いことを確認しVAの予想を削除

サ 東京航空地方気象台

東京航空地方気象台は、以下の対応を実施した。

・9月27日の運航用飛行場予報（TAF）及び時系列予報において火山灰（VA）を予想。

月 日	各種対応状況等
9月27日	15時02分（0602UTC） TAF・時系列予報に21時（12UTC）にかけVAを付加
	20時05分（1105UTC） TAF・時系列予報に翌日03時（18UTC）にかけVAを付加
	21時04分（1204UTC） 空港及び周辺において降灰実況が無いことを確認しVAの予想を削除

(3) 札幌管区気象台及び仙台管区気象台の措置

札幌管区気象台及び仙台管区気象台は、政府現地対策本部へ以下のとおり職員を派遣した。

月 日	札幌管区気象台、仙台管区気象台からの派遣状況
10月9日	1名派遣：火山調査官（札幌管区気象台）（10月16日まで）
10月15日	1名派遣：調査官（仙台管区気象台）（10月17日まで）

また、札幌管区気象台は、気象庁本庁（地震火山部火山課）へ以下のとおり職員を派遣した。

月 日	札幌管区気象台からの派遣状況
10月15日	1名派遣：技官（札幌管区気象台）（11月30日まで）

7 被害の状況

総務省消防庁による被害状況のまとめを掲載する（平成26年10月23日現在）。

死 者：57名

負 傷 者：69名（重傷29名、軽傷40名）

行方不明者：6名

（内訳）

県 名	死 者	行方 不明者	負 傷 者	
			重傷	軽傷
長野県	57	6	27	32
岐阜県			2	8
計	57	6	29	40

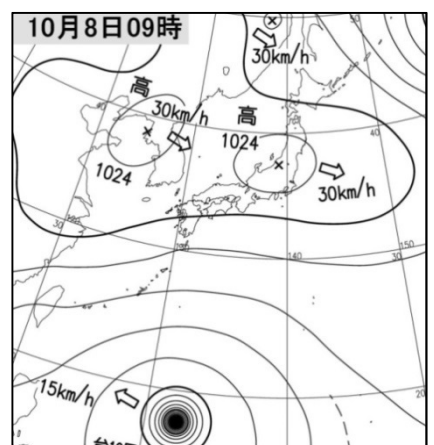
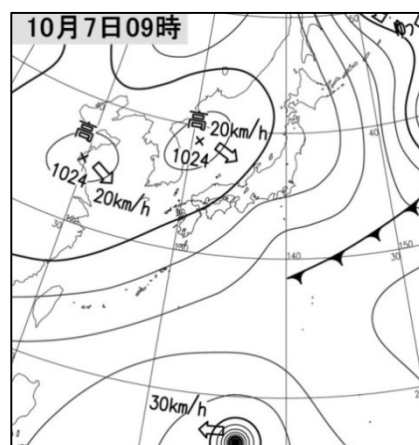
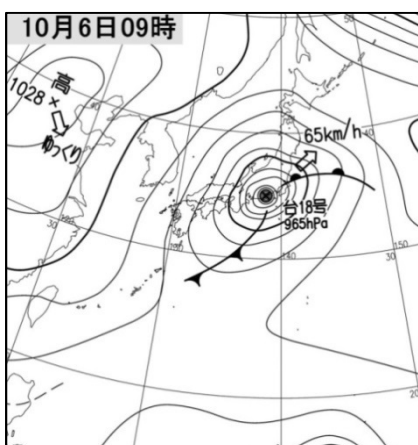
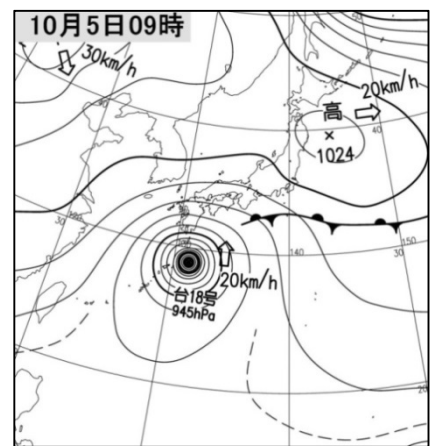
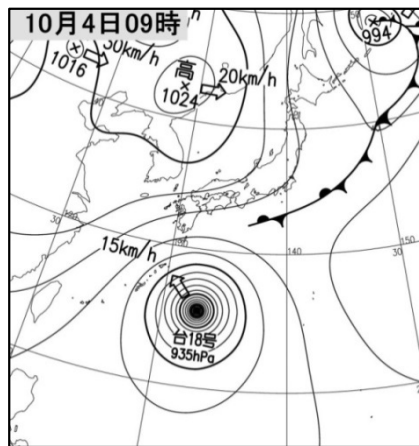
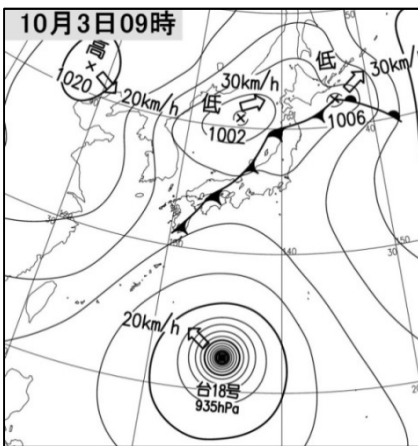
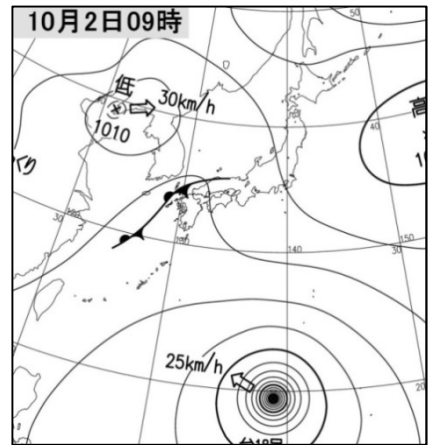
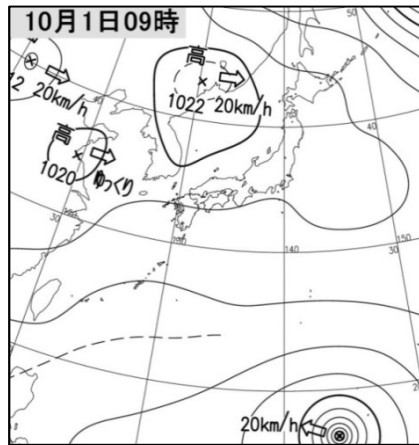
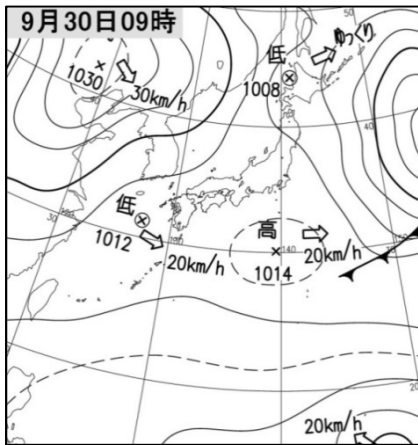
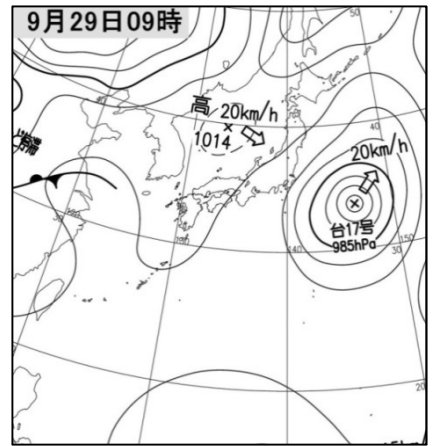
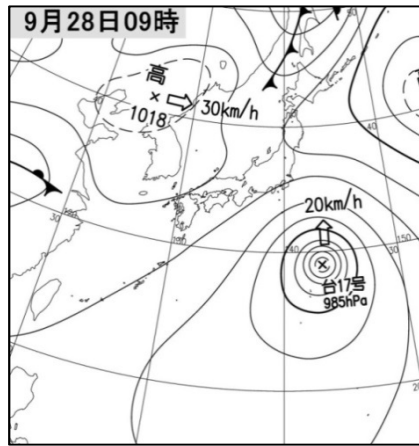
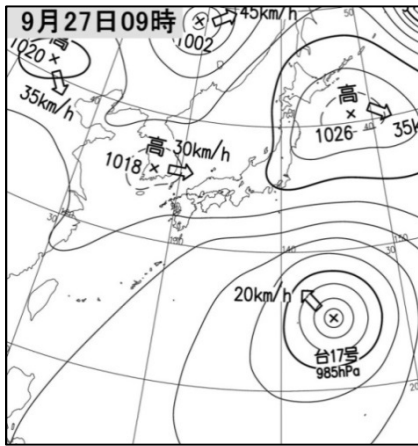
8 気象状況

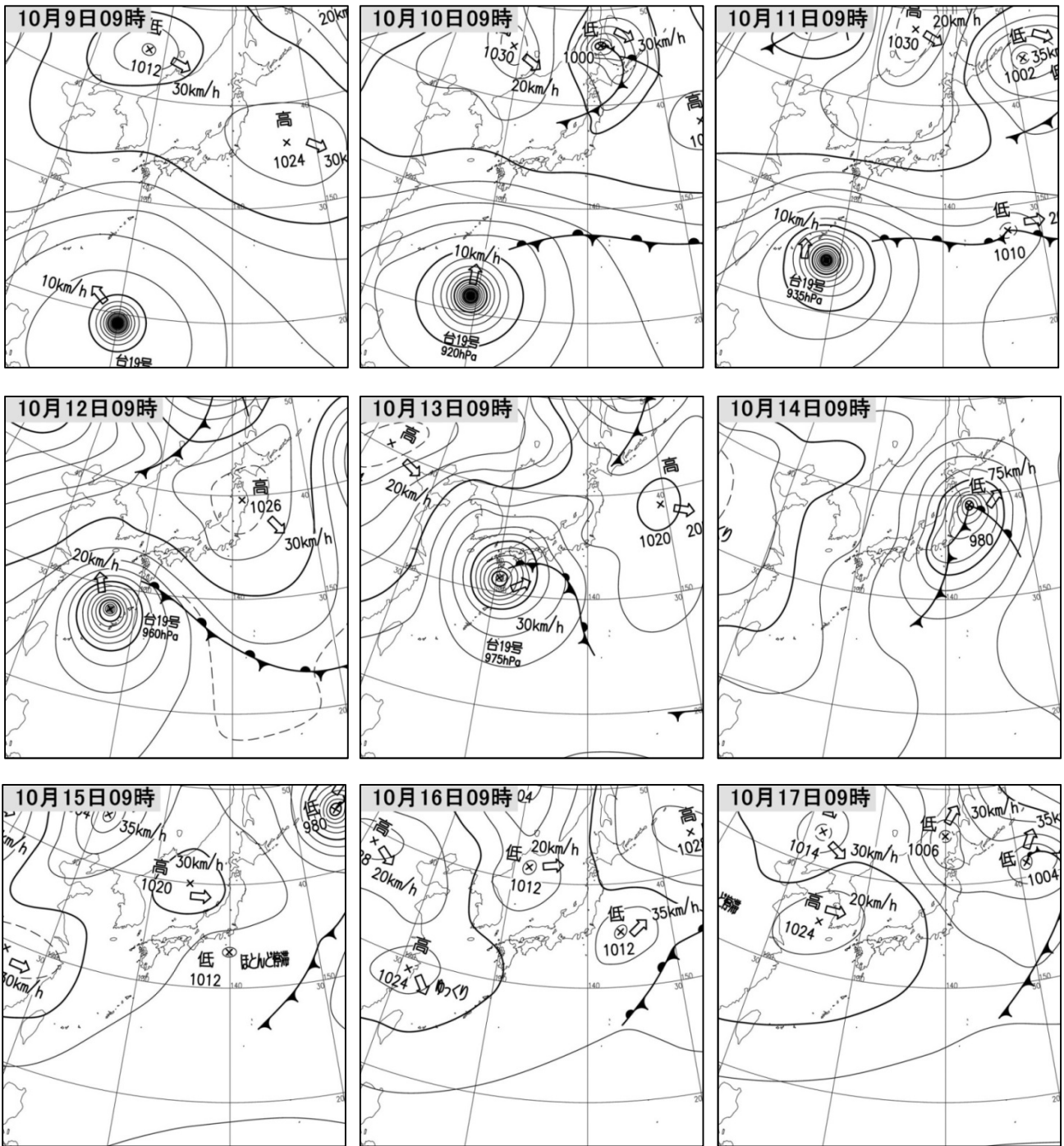
平成 26 年 9 月 27 日から 10 月 17 日までの長野県南部の天気概要を記述する。

期間の初めは高気圧に覆われ晴れたが、10 月 5 日から 6 日は前線や台風第 18 号の影響により大雨となった。その後は高気圧に覆われ晴れたが、10 月 13 日から 14 日にかけては台風第 19 号の影響により大雨となった。

地上天気図（第 8-1 図）と御嶽山周辺アメダス観測所（第 8-2 図）の観測値（第 8-1 表～第 8-3 表）を掲載する。

月 日	日々の天気概況
9月27日	高気圧に覆われ晴れた。
9月28日	高気圧に覆われ晴れた。
9月29日	高気圧に覆われ晴れた。
9月30日	高気圧に覆われ晴れたが、湿った空気や気圧の谷の影響により夕方から曇りで雨が降ったところもあった。
10月1日	高気圧に覆われ晴れたが、湿った空気や気圧の谷の影響により朝夕は曇りとなった。
10月2日	はじめ高気圧に覆われ晴れたが、日本海の前線に向かって湿った空気の入った影響により、午後は次第に曇りとなり夕方からは雨が降ったところがあった。
10月3日	引き続き前線に向かって湿った空気が入った影響により、明け方まで雨の降ったところがあった。
10月4日	湿った空気の影響により、概ね曇りとなった。
10月5日	本州南岸の前線や台風第 18 号からの暖かく湿った空気の影響により、雨が降った。
10月6日	本州の南岸を北東に進んだ台風第 18 号は、夜には日本の東海上で温帯低気圧に変わった。このため午前中は雨が降ったが、午後は次第に曇りや晴れとなった。
10月7日	概ね高気圧に覆われ晴れた。
10月8日	概ね高気圧に覆われ晴れた。
10月9日	湿った空気の影響により概ね晴れた。
10月10日	高気圧に覆われ晴れた。
10月11日	概ね高気圧に覆われ晴れた。
10月12日	はじめ高気圧に覆われ晴れたが、南からの湿った空気の影響により午後は次第に曇りとなった。
10月13日	台風第 19 号の接近により明け方から雨となり、夜は激しく降ったところがあった。
10月14日	本州を通過した台風第 19 号は三陸沖で温帯低気圧に変わった。このため明け方まで雨が降り、朝から次第に曇りや晴れとなった。
10月15日	低気圧や湿った空気の影響により、次第に曇りとなり午後は雨が降った。
10月16日	高気圧に覆われ日中は晴れたが、低気圧や気圧の谷の影響により朝晩は曇りとなり、夜は雨の降ったところがあった。
10月17日	高気圧に覆われ晴れた。





第8-1図 9月27日から10月17日の地上天気図

第 8-2 表 アメダス毎時気温・日照時間集計表 期間：9月27日～10月17日

データに付加した記号の意味

-)：準正常値。統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、許容する資料数を満たす値。
-]：資料不足値。統計値を求める対象となる資料が許容する資料数を満たさない値。
- ×：資料なし(欠測)。統計値を求める期間内の観測結果がすべて求められなかった場合。

月日	時刻 観測所名	気温単位： 日照時間単位：h																								日平均 気温 日照日 合計	最高 気温 最低 気温	最高起 時分 最低起 時分
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
9月27日	開田高原	気温 11.1	10.9	10.6	10.1	9.0	9.0	9.7	11.6	14.4	16.2	18.5	18.0	18.4	18.5	18.3	16.9	15.9	15.0	14.7	14.3	13.4	13.7	13.0	11.9	13.9	19.7	1116
	日照						0.0	0.0	0.1	1.0	1.0	1.0	0.5	0.9	0.4	0.8	0.7	0.1	0.0								6.5	8.8
9月28日	開田高原	気温 10.8	9.9	9.4	8.5	7.1	7.2	8.2	11.5	17.0	19.0	21.1	22.3	21.2	20.4	19.8	18.7	16.8	15.3	14.5	14.0	12.6	10.2	12.5	8.2	14.0	22.5	1158
	日照						0.0	0.0	0.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.8	0.1	0.0								7.9	6.6
9月29日	開田高原	気温 7.2	6.4	6.2	5.0	4.4	3.9	5.0	9.1	14.7	17.7	19.6	20.5	22.0	20.5	20.4	18.8	17.1	15.5	13.9	10.9	9.6	9.0	8.3	7.7	12.2	22.5	1304
	日照						0.0	0.0	0.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.7	0.1	0.0							7.7	3.5
9月30日	開田高原	気温 7.2	7.2	6.9	9.2	9.5	11.5	10.8	15.4	17.2	18.6	×	20.3	20.5	20.2	19.3	17.5	16.3	15.2	14.5	14.2	13.4	11.6	11.5	12.2	(13.9)	21.2)	1210
	日照						0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	×	×	1.0	1.0	0.7	0.4	0.0	0.0								4.9)	6.1)
10月1日	開田高原	気温 12.7	12.2	11.9	11.9	11.9	11.4	12.4	14.0	15.9	17.7	17.8	18.8	19.0	19.5	19.0	18.0	15.5	12.3	11.7	10.9	10.1	8.8	8.6	8.4	13.8	19.7	1421
	日照						0.0	0.0	0.0	0.6	0.9	0.0	0.1	0.1	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0								2.5	8.0
10月2日	開田高原	気温 7.6	7.2	7.8	8.3	8.2	7.3	8.1	10.4	13.8	17.7	18.5	18.5	19.2	18.9	18.6	17.8	15.5	15.0	14.9	15.1	14.7	14.2	13.9	14.3	13.6	20.0	1317
	日照						0.0	0.0	0.0	0.6	1.0	0.3	0.5	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0								2.9	6.9
10月3日	開田高原	気温 13.6	13.4	13.4	13.1	13.6	13.5	13.9	14.2	15.0	15.2	15.3	16.4	16.8	17.7	17.3	17.2	16.7	15.5	14.6	14.5	15.2	15.1	12.9	11.8	14.8	18.0	1413
	日照						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0								0.1	11.1
10月4日	開田高原	気温 13.5	11.4	10.8	9.6	12.2	12.0	12.5	13.4	14.4	15.3	14.8	16.2	15.5	15.0	14.6	14.3	12.9	11.5	11.3	10.1	9.9	9.9	9.2	8.7	12.5	16.9	1147
	日照						0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.1	0.1	0.0	0.0								2.8	8.7
10月5日	開田高原	気温 9.0	9.1	9.1	9.4	9.7	9.9	10.1	10.6	11.0	11.5	12.8	13.5	14.2	13.7	13.3	13.3	12.8	12.8	12.7	12.7	12.7	12.6	12.6	12.5	11.7	14.6	1321
	日照						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								0.0	8.7
10月6日	開田高原	気温 12.6	12.7	12.7	12.8	12.9	12.9	13.3	13.5	14.9	15.0	16.9	15.7	15.7	15.7	15.3	14.3	12.8	12.4	11.6	11.9	11.5	11.5	11.0	10.1	13.3	18.0	1049
	日照						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.2	0.6	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0								1.9	10.1
10月7日	開田高原	気温 9.5	8.6	8.0	7.4	6.7	6.7	6.1	7.3	11.0	12.7	14.2	15.8	16.6	16.0	15.0	13.8	12.0	9.9	7.8	6.5	5.6	5.0	4.7	4.8	9.7	16.8	1317
	日照						0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0								6.5	4.4
10月8日	開田高原	気温 10.1	8.8	9.1	8.2	6.9	6.7	7.6	9.0	10.9	13.1	14.4	15.7	16.6	16.5	16.0	14.9	12.0	9.7	8.6	7.5	7.1	6.6	6.0	5.7	10.3	17.0	1352
	日照						0.0	0.0	0.8	1.0	1.0	×	0.7	1.0	1.0	1.0	1.0	0.3	0.0								7.8)	5.6
10月9日	開田高原	気温 4.1	3.9	4.7	4.4	3.9	3.2	3.5	6.5	9.9	13.5	15.3	17.0	17.7	17.5	16.5	15.1	12.4	9.8	8.2	6.9	6.3	5.7	5.2	4.6	9.0	18.0	1332
	日照						0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.0	0.0	0.0								6.6	2.9
10月10日	開田高原	気温 5.3	5.4	5.2	6.0	6.2	5.4	6.6	8.9	12.2	16.5	18.5	18.5	19.0	×	×	16.7	13.2	11.2	10.4	9.1	8.8	7.6	8.3	7.7	10.3)	19.6)	1303
	日照						0.0	0.0	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.2	0.0									8.7	4.9)
10月11日	開田高原	気温 4.2	4.6	3.6	3.6	3.2	2.7	4.1	8.6	12.9	15.5	17.4	18.8	18.8	17.8	18.0	15.7	14.3	12.1	12.5	11.8	12.2	12.5	12.1	11.7	11.2	19.4	1209
	日照						0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	0.9	0.5	0.5	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0								4.5	2.6
10月12日	開田高原	気温 7.0	6.3	6.0	6.1	5.3	5.1	7.4	10.1	12.5	15.4	18.4	19.6	20.4	19.2	18.5	17.5	16.0	14.2	13.8	13.4	13.8	13.3	13.4	13.7	12.8	20.7	1311
	日照						0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.4	0.6	0.4	0.5	0.8	1.0	0.2	0.0								4.4	5.1
10月13日	開田高原	気温 11.1	11.1	10.9	11.9	10.8	9.2	9.6	11.6	14.9	17.8	19.0	19.0	19.3	18.9	18.1	17.5	15.8	14.6	13.9	11.9	10.6	10.8	10.4	9.6	13.7	19.5	1245
	日照						0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0								5.9	8.9
10月14日	開田高原	気温 13.3	13.3	13.3	13.1	12.3	11.3	10.8	12.7	16.8	19.2	19.4	20.4	20.5	20.3	19.9	18.7	15.9	13.5	12.8	13.2	13.2	13.9	13.9	13.5	15.2	21.2	1333
	日照						0.0	0.0	0.7	1.0	1.0	0.8	0.6	1.0	1.0	0.8	0.1	0.0	0.0								7.0	10.5
10月15日	開田高原	気温 8.9	8.6	8.9	9.5	9.8	9.6	9.2	9.4	11.6	15.2	17.6	18.8	19.1	19.0	18.5	15.6	13.1	10.4	8.8	7.8	7.0	6.3	5.4	4.7	11.4	19.6	1355
	日照						0.0	0.0	0.0	0.6	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	0.6	0.0	0.0	0.0								6.1	4.4
10月16日	開田高原	気温 13.2	13.0	12.5	12.3	12.3	11.6	11.0	11.9	13.6	15.7	18.8	19.6	20.9	20.7	20.5	18.1	14.4	12.1	10.8	9.9	8.7	8.7	7.8	7.5	13.6	21.2	1353
	日照						0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.2	0.0								8.0	7.4

気温単位: 日照時間単位:h

月日	時刻 観測所名	時刻																								日平均 気温	最高 気温	最高起 時分	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24				
10月10日	開田高原	気温	4.2	3.5	3.5	3.1	2.2	2.1	2.9	6.2	9.5	12.1	14.1	15.9	17.5	16.7	17.0	15.6	13.1	11.6	11.1	11.6	11.8	11.7	11.5	10.8	10.0	17.6	1255
	日照						0.0	0.0	0.0	0.5	0.7	0.7	0.8	1.0	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0								5.0	1.7	0606
10月12日	宮之前	気温	7.4	6.4	6.2	5.7	5.5	5.3	7.3	8.7	12.4	16.2	16.8	18.1	17.2	17.9	17.8	17.1	16.0	14.6	15.2	14.8	14.2	13.6	13.1	12.3	12.5	18.6	1406
	日照						0.0	0.0	0.5	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.6	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0							6.2	5.1	0538
10月13日	開田高原	気温	10.6	10.5	10.5	10.5	10.6	9.6	9.7	10.1	10.4	10.9	11.3	11.3	12.0	12.1	11.7	11.5	11.4	11.3	11.5	11.6	11.7	12.0	11.7	11.3	11.1	12.5	1325
	日照						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							0.0	9.6	0741
10月13日	宮之前	気温	12.0	11.8	11.8	11.5	11.4	11.3	11.2	11.7	12.0	12.4	13.8	14.3	14.9	14.0	12.5	13.9	15.0	14.3	14.0	14.2	14.0	13.8	14.0	14.1	13.1	16.0	1717
	日照						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							0.0	11.1	0648
10月14日	開田高原	気温	11.9	12.7	12.8	12.8	12.1	11.4	11.1	11.2	11.7	11.9	12.2	11.4	9.6	9.3	10.0	9.4	8.9	8.3	8.1	7.7	7.3	6.8	6.9	6.6	10.1	13.1	0306
	日照						0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	0.4	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0								1.8	6.5	2400
10月14日	宮之前	気温	13.1	12.8	13.2	13.2	12.6	12.2	11.7	11.4	11.1	11.2	10.9	10.2	10.3	11.4	10.7	10.6	9.8	9.6	9.5	9.2	8.6	7.8	7.6	7.3	10.7	14.7	0026
	日照						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								0.0	7.3	2400
10月15日	開田高原	気温	6.2	6.3	5.4	4.8	5.0	4.2	5.0	6.1	8.0	11.0	12.8	12.2	9.9	10.3	10.5	9.0	8.2	8.0	7.8	7.8	7.7	7.6	7.5	7.9	13.5	1109	
	日照						0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								1.9	4.0	0347
10月15日	宮之前	気温	7.1	7.0	6.8	6.6	6.6	6.3	6.5	6.9	7.9	8.9	10.9	11.5	11.0	12.3	12.7	12.0	11.1	10.6	10.4	10.5	10.5	9.9	9.5	9.3	9.3	12.9	1459
	日照						0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0									0.9	6.2	0625
10月16日	開田高原	気温	7.4	7.2	6.7	6.3	6.1	6.0	5.6	6.5	8.3	10.7	11.2	11.5	12.4	13.3	12.5	11.3	8.8	5.7	4.1	3.6	2.5	3.0	5.7	3.5	7.5	13.3	1401
	日照						0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0								6.1	2.2	2128
10月16日	宮之前	気温	8.8	8.6	8.4	8.0	7.6	6.8	6.4	7.7	10.3	13.0	14.4	14.4	15.3	15.2	15.3	13.6	9.5	7.8	6.8	7.4	7.3	7.1	7.0	6.4	9.7	16.2	1441
	日照						0.0	0.0	0.4	0.5	0.5	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9	0.0	0.0									7.2	5.8	2344
10月17日	開田高原	気温	4.2	3.7	4.0	4.4	4.8	4.1	3.8	6.9	8.0	8.9	9.5	9.9	10.0	9.8	9.4	9.0	7.7	6.3	5.0	1.6	0.6	0.2	-0.2	-0.5	5.5	10.4	1413
	日照						0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.8	1.0	1.0	1.0	0.8	0.0	0.0	0.0								5.3	-0.6	2359
10月17日	宮之前	気温	6.1	6.2	6.4	6.7	6.6	5.9	5.7	7.1	8.1	8.9	9.9	10.4	10.8	11.6	11.4	10.1	6.5	5.2	3.9	2.7	2.3	1.5	1.1	0.8	6.5	12.0	1325
	日照						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.3	1.0	1.0	0.9	0.0	0.0								3.8	0.7	2400

第8-3表 アメダス毎時風向・風速集計表 期間:9月27日~10月17日

データに付加した記号の意味

-) : 準正常値。統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、許容する資料数を満たす値。
-] : 資料不足値。統計値を求める対象となる資料が許容する資料数を満たさない値。
- x : 資料なし(欠測)。統計値を求める期間内の観測結果がすべて求められなかった場合。

月日	時刻 観測所名	時刻																								日最多 風向/ 日平均 風速	日最大 風速/ 風向	日最大 瞬間風 速/風向			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24						
9月27日	開田高原	風向	-	-	-	-	-	-	ESE	W	WNW	SSE	NW	-	WSW	W	W	-	-	-	-	-	-	-	-	W	WNW	E			
	風速	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.4	0.8	0.9	0.5	0.4	0.1	0.3	0.8	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	1.4	0930	2.9	1110	
9月27日	宮之前	風向	WSW	-	SW	SSW	SSW	S	S	E	NNE	SW	SW	S	WSW	SSW	SSW	-	SW	-	SW	SSW	-	-	SSW	SW	SW	SW			
	風速	0.3	0.0	0.6	0.7	0.6	0.8	1.2	0.3	0.3	1.6	1.6	1.4	1.1	1.1	0.5	1.1	0.9	0.1	0.6	0.0	0.4	0.9	0.2	0.2	0.8	2.8	1041	4.8	1115	
9月28日	開田高原	風向	-	-	-	-	-	-	E	NE	NNE	N	NNW	NW	NNW	NW	NNW	NNW	NNW	N	S	NNW	SW	NNW	NW	NW	NW				
	風速	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.5	1.5	1.2	1.9	1.8	2.3	2.7	3.0	3.0	2.3	1.7	1.4	1.3	0.9	0.3	1.0	0.4	1.2	4.0	1417	8.3	1323	
9月28日	宮之前	風向	SSW	SE	-	SSW	-	SSW	SSE	-	NNE	NNE	NE	NE	N	NNE	N	NNE	NNE	NNW	NNE	NNE	NNE	NNE	NNE	N	NNE	NNE			
	風速	0.4	0.5	0.0	0.5	0.1	0.5	0.4	0.1	0.5	2.5	2.8	1.9	2.7	2.6	2.0	2.9	2.2	0.7	1.7	1.5	1.7	1.3	1.3	0.7	1.3	3.5	1450	8.9	1206	
9月29日	開田高原	風向	-	-	-	-	-	-	ESE	N	NNE	NW	NNW	WSW	N	NNE	WNW	NW	NW	NW	-	S	-	-	-	NW	NW	NE			
	風速	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.4	1.7	1.5	1.7	1.5	0.5	2.0	2.6	1.5	2.1	1.3	0.3	0.1	0.4	0.2	0.2	0.1	0.8	3.1	1534	6.8	1438	
9月29日	宮之前	風向	-	-	-	S	S	SSE	E	ENE	NE	NE	N	NNE	N	N	SSW	SW	SW	SSW	-	-	SSW	SW	N	NNE	NNE				
	風速	0.2	0.0	0.0	1.4	2.0	2.1	2.2	0.6	1.6	2.6	1.8	1.5	2.4	3.3	1.4	2.9	1.6	1.0	0.7	0.6	0.0	0.1	0.6	0.7	1.2	4.0	1334	7.1	1329	
9月30日	開田高原	風向	-	-	-	NNW	NNW	NW	-	NW	NNW	NNE	x	x	N	NW	NNE	NNE	NNE	NW	NW	NNW	NNE	-	-	SSE	SSE	NW	NW		
	風速	0.1	0.1	0.1	1.0	0.6	2.0	0.0	1.5	2.1	2.4	x	x	1.8	2.6	3.4	2.6	1.6	2.1	2.1	1.4	0.6	0.1	0.0	1.2	1.4	4.5	1524	10.2	1520	
9月30日	宮之前	風向	SSW	WSW	SSW	SW	SSW	SSW	SW	NE	E	ENE	NNE	NNE	N	N	N	NNE	S	SSW	S	SSW	SSE	SW	SSW	SW	SSW	NNW	NNE		
	風速	0.9	0.3	0.4	0.6	0.5	0.4	0.3	0.5	1.3	2.3	3.1	2.0	2.3	2.9	2.3	1.6	0.4	1.2	1.1	0.3	0.7	0.7	0.4	0.7	1.1	3.7	1452	8.8	1243	
10月1日	開田高原	風向	NNE	NW	-	-	WSW	SSE	-	SSE	SSE	SE	SSW	NNW	S	NNW	NW	NNW	NNE	-	-	SSE	-	-	SSE	SSE	NW	NW			
	風速	1.2	0.5	0.0	0.0	0.4	0.3	0.0	0.3	0.4	0.6	0.3	0.5	0.3	1.2	1.4	1.1	0.8	0.1	0.0	0.3	0.1	0.0	0.1	0.6	0.4	2.1	1427	4.2	1425	
10月1日	宮之前	風向	-	-	SW	-	-	-	S	ESE	NE	NE	NNE	N	N	NNE	N	N	SW	SW	-	SW	SSW	SSW	-	SW	N	N			
	風速	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0	0.1	0.9	0.3	1.7	1.5	2.5	2.2	2.1	2.7	2.4	2.1	1.6	0.5	0.3	0.2	0.3	0.8	1.0	0.2	1.0	3.8	1145	6.2	1139	
10月2日	開田高原	風向	-	-	NNW	-	NW	-	-	SE	ESE	W	ENE	E	SSE	ESE	NE	E	-	-	-	-	-	-	SSE	NW	NNW	ENE	E	ENE	SE
	風速	0.0	0.1	0.3	0.0	0.6	0.0	0.1	0.4	0.5	0.7	0.8	0.7	1.2	0.5	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	0.6	0.4	0.3	1.9	0.4	1.9	2400	4.0	1256	
10月2日	宮之前	風向	SSW	SSW	-	SSW	SW	SSW	-	SSW	ESE	E	SSW	SSW	SSE	WSW	WSW	SSW	WSW	WSW	SW	SW	SW	WSW	S	SE	SSW	WSW	SW		
	風速	0.6	0.3	0.0	0.7	1.1	0.9	0.0	0.5	0.5	0.8	1.1	1.5	1.5	1.6	2.1	2.0	2.8	0.8	1.6	1.3	2.2	1.4	0.5	0.7	1.1	3.7	2023	8.0	2014	
10月3日	開田高原	風向	-	SSE	SSW	SE	SW	SE	WSW	SE	ESE	ESE	SE	N	NNW	-	-	NNE	SSE	S	WNW	NW	NW	-	SSE	SE	NW	NW			
	風速	0.2	0.5	0.6	0.4	0.4	0.6	0.4	0.6	0.8	0.9	0.6	1.3	0.3	0.1	0.1	0.7	0.7	0.6	0.4	0.4	1.6	2.7	0.2	0.6	0.6	3.2	2205	6.1	2202	
10月3日	宮之前	風向	SSW	SSW	SSW	S	-	-	-	ENE	-	NNE	WNW	WSW	N	SSW	N	NE	-	SSW	S	-	-	NW	-	-	SSW	N	WSW		

単位:m/s

月日	時刻 観測所名	時刻																								日最多 風向 日平均 風速	日最大 風速/ 風向	日最大 瞬間風 速/風向	日最大 瞬間風 速/風向		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24						
10月4日	開田高原 宮之前	風向	NW	ESE	S	SSE	N	NNW	NNW	WNW	NW	NW	NW	WNW	NW	NW	NNE	ESE	NNE	NE	-	-	-	-	-	NW	NW	NW	NW		
		風速	1.8	0.3	0.6	0.4	1.5	2.0	1.6	2.4	1.9	2.8	2.8	3.1	2.9	2.5	1.2	0.5	1.3	1.5	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	1.5	4.3	1040	9.2	1243
		風速	0.0	0.1	0.4	0.1	0.0	1.5	1.0	0.7	2.0	1.6	2.9	1.7	2.2	1.5	2.5	1.1	0.9	1.5	0.4	0.1	0.1	0.6	0.8	0.2	0.2	1.1	3.6	1241	7.0
10月5日	開田高原 宮之前	風向	-	SSW	-	-	NE	-	W	NNE	-	-	NNW	S	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SSW	NNE	SW			
		風速	0.1	0.3	0.1	0.1	0.5	0.1	0.5	0.4	0.1	0.0	0.4	0.3	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.9	1049	2.3	2103
		風速	0.2	0.7	0.1	0.6	0.2	0.3	0.8	0.4	0.1	0.2	0.0	1.7	3.1	1.2	0.6	0.7	0.3	0.3	1.7	0.6	0.6	1.3	0.2	0.6	0.8	3.9	1320	5.7	1318
10月6日	開田高原 宮之前	風向	WSW	-	WSW	W	S	SSW	NE	WNW	NNW	N	ENE	ESE	ENE	E	ESE	NE	ENE	SW	NNE	NNW	NE	ENE	NE	NE	ENE	ENE			
		風速	0.3	0.1	0.4	0.6	0.7	0.5	1.3	0.6	3.6	1.9	3.4	3.0	2.8	2.2	1.5	2.1	3.2	1.2	2.4	2.4	2.9	3.6	4.3	1.9	4.5	1111	16.6	1251	
		風速	0.8	1.2	0.6	0.9	2.7	2.0	0.8	3.0	1.6	1.8	2.4	1.2	1.1	1.9	1.8	2.2	0.5	1.8	0.8	1.2	0.7	1.2	2.3	0.9	1.5	3.8	1020	9.3	1541
10月7日	開田高原 宮之前	風向	NE	NE	NNE	NE	N	NNE	NE	ESE	NNE	W	ESE	NNE	ESE	WNW	WNW	WNW	NW	NE	S	-	-	-	-	NE	NE	NE			
		風速	4.4	2.7	2.5	1.8	0.8	0.8	1.0	0.5	1.2	0.9	0.4	0.6	0.9	2.2	2.4	2.2	1.6	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	1.2	4.5	1011	9.9	0029
		風速	1.0	1.2	0.6	1.2	0.8	0.2	0.9	0.3	1.7	1.6	x	2.3	2.7	2.9	3.2	1.9	0.5	0.6	0.3	0.5	0.4	0.4	0.2	0.0	1.1	4.0	1424	7.2	1421
10月8日	開田高原 宮之前	風向	-	-	-	-	-	-	E	E	E	NNE	ENE	SSE	ESE	WNW	WSW	N	-	-	-	-	-	-	-	E	WSW	NNE			
		風速	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	0.7	0.6	1.0	1.2	1.1	0.6	0.6	0.4	0.5	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.3	1.6	1126	3.7	1120
		風速	0.4	0.1	0.2	0.3	0.4	0.8	0.3	0.1	0.5	1.4	1.7	1.7	2.0	1.7	2.0	1.2	1.6	1.5	1.0	0.7	0.4	0.2	0.5	0.6	0.9	2.6	1315	5.2	1309
10月9日	開田高原 宮之前	風向	-	-	-	S	-	-	SSE	-	SSE	E	ESE	NNE	SSW	NNW	NW	NW	-	-	-	S	S	-	-	S	N	NE			
		風速	0.0	0.1	0.2	0.4	0.2	0.1	0.3	0.4	0.2	0.4	1.0	0.9	1.9	0.5	1.9	0.5	0.0	0.2	0.0	0.2	0.3	0.3	0.0	0.2	0.4	3.5	1213	7.1	1205
		風速	0.9	1.0	1.1	0.9	0.3	0.8	0.6	0.2	0.4	0.2	0.9	1.7	1.8	1.8	1.6	2.2	1.0	1.1	1.1	0.5	0.9	0.0	0.4	0.1	0.9	3.5	1434	6.5	1428
10月10日	開田高原 宮之前	風向	-	NNE	-	WSW	SSE	-	SW	E	E	NNE	NW	WNW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	N	-	-	-	ENE	NE	-	NW	NW		
		風速	0.0	0.6	0.1	0.4	0.3	0.2	0.4	0.4	0.4	1.9	1.8	2.5	1.8	1.5	1.6	2.1	1.3	1.4	1.3	0.2	0.0	0.6	0.4	0.1	1.0	3.6	1219	7.4	1617
		風速	0.8	0.1	0.3	0.2	0.1	0.6	0.1	0.3	0.6	3.1	2.1	2.1	2.7	2.2	2.4	2.0	0.5	0.7	0.3	0.0	0.1	1.0	1.5	1.5	1.0	3.5	1044	7.7	1018
10月11日	開田高原 宮之前	風向	-	-	-	-	-	-	-	-	SW	NW	WNW	NNE	SW	WSW	WNW	-	-	-	-	-	-	-	SSE	-	-	WNW	WNW	W	
		風速	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.0	0.3	0.7	0.6	0.6	0.6	0.8	0.7	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0	0.1	0.2	0.9	1102	2.6	1417
		風速	1.8	0.7	0.6	1.6	1.2	0.7	1.8	0.9	0.1	0.9	2.6	2.9	2.4	3.5	3.0	0.5	1.3	0.1	0.2	0.7	0.8	0.2	0.9	0.3	1.3	3.5	1406	5.6	1303
10月12日	開田高原 宮之前	風向	-	-	-	S	-	-	-	ENE	-	W	SW	WSW	NNW	NE	SW	-	-	SSE	SSE	-	-	NW	-	SE	SSE	WNW	W		
		風速	0.0	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2	0.2	0.4	0.1	0.5	0.5	0.4	0.7	0.4	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4	0.1	0.0	0.5	0.1	0.4	0.2	1.1	1442	2.9	1233
		風速	1.3	0.0	1.2	0.3	1.1	0.0	0.7	0.2	0.3	2.0	2.0	0.8	1.3	0.4	0.4	1.9	1.3	0.5	0.9	1.8	1.1	1.5	0.7	0.6	0.9	3.0	1026	7.5	0933
10月13日	開田高原 宮之前	風向	-	-	NW	S	NNW	-	WSW	-	-	WSW	-	ENE	WSW	SSW	-	SW	-	-	-	-	-	-	SSW	NE	-	-	WSW	NW	NW
		風速	0.0	0.0	0.7	0.3	1.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.4	0.1	0.3	0.7	0.5	0.1	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.4	0.9	0.2	0.2	0.3	2.0	0456	4.0	0455
		風速	0.7	0.5	0.4	0.2	0.2	0.9	0.7	0.1	1.2	1.7	2.7	3.4	2.2	1.8	1.3	0.8	1.8	0.8	1.4	0.3	0.5	0.6	0.2	0.8	1.1	3.8	1439	7.2	1644
10月14日	開田高原 宮之前	風向	NW	ENE	ENE	NE	ENE	NE	ENE	E	ENE	ENE	E	WNW	NNE	ENE	NW	NNE	NE	NW	NNE	N	N	NE	N	NW	ENE	ENE	NE		
		風速	1.2	3.3	3.1	4.3	4.7	3.3	4.8	2.1	2.2	3.5	1.8	2.1	2.2	1.9	1.7	2.5	2.8	2.4	1.2	1.8	1.4	1.4	1.6	1.9	2.4	5.6	0420	12.1	0411
		風速	2.2	0.6	2.2	3.3	1.9	3.2	3.5	3.8	0.7	2.1	2.0	1.1	1.5	1.7	1.7	2.3	1.5	0.7	0.8	2.3	1.1	1.5	1.8	1.4	1.9	4.8	0033	15.9	0537
10月15日	開田高原 宮之前	風向	NNE	NNE	ENE	NE	-	-	-	-	SSW	NW	N	NW	-	NNE	WNW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	W	NNE	NW	NW	
		風速	1.0	1.6	1.3	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	1.7	1.2	0.2	0.7	0.3	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.5	2.6	1124	5.4	1045
		風速	0.8	1.5	1.2	0.4	0.1	0.0	0.9	1.1	1.9	2.1	2.2	2.5	0.9	0.7	1.6	1.9	0.0	0.4	0.5	0.3	1.7	1.3	0.4	0.0	0.9	3.0	1215	4.5	1058
10月16日	開田高原 宮之前	風向	-	SSE	NW	-	-	NNE	-	-	SE	E	ESE	NNW	ESE	WNW	ENE	SW	NW	-	SSE	-	-	-	NE	WSW	NW	NE	NE		
		風速	0.1	0.4	0.4	0.2	0.0	1.2	0.1	0.0	0.4	0.9	0.8	0.5	0.8	1.0	0.6	0.9	0.5	0.2	0.4	0.1	0.2	0.1	2.2	0.4	0.5	3.1	2306	5.8	2259
		風速	0.6	0.1	0.2	0.0	0.1	0.4	0.1	0.2	0.7	1.3	1.9	1.7	2.2	1.6	1.6	2.4	1.0	1.0	1.0	0.9	0.7	0.1	0.6	0.3	0.9	3.3	1108	7.1	1107
10月17日	開田高原 宮之前	風向	-	W	-	-	S	NW	SSE	S	E	ENE	NE	NNW	NNW	WNW	WNW	N	NNW	NW	NNE	-	-	-	-	-	NNW	NW	WNW		
		風速	0.1	0.4	0.0	0.2	0.3	0.4	0.3	0.8	1.2	2.4	3.1	3.7	2.4	2.6	3.1	2.2	2.3	2.0	1.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	1.2	4.8	1440	10.5	1431
		風速	0.4	0.3	0.3	0.4	0.1	0.3	0.5	0.4	0.8	2.2	3.6	2.4	1.9	4.0	1.7	2.4	1.0	2.2	1.3	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	1.2	4.3	1058	8.4	1049